

# 取扱説明書

---

**UFM-30DCC**

デジタルカラーコレクタ  
Digital Color Corrector

---

**UFM-3DCC2C**

---


3<sup>rd</sup> Edition - Rev. 2




## 使用上の注意

安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください。



### [使用環境・使用方法]

 禁止	高温多湿の場所、塵埃の多い場所や振動のある場所に設置しないでください。使用条件以外の環境でのご使用は、動作の異常、火災や感電の原因になることがあります。
---	--


### [運搬・移動]

 注意	運搬時などに外部から強い衝撃を与えないように注意してください。機器が故障することがあります。機器を他の場所へ移動するときは、専用の梱包材をご使用ください。
---	---


### [内部の設定変更が必要なとき]

 必ず行う	電源を切ってから、設定変更の操作を行ってください。電源を入れた状態で設定が必要な場合は、サービス技術者が行ってください。
 触らない	過熱部分には触らないでください。やけどをする恐れがあります。

### [異常時の処置]

 必ず行う	電源が入らない、異臭がする、異常な音が聞こえるときは、内部に異常が発生している恐れがあります。すぐに電源を切り、販売代理店、サービスセンターまでご連絡ください。
---	--

### [消耗部品]

 注意	消耗部品が使用されている機器では、定期的に消耗部品を交換してください。消耗部品・交換期間の詳しい内容については、取扱説明書の最後にある仕様でご確認ください。なお、消耗部品は使用環境で寿命が大きく変わりますので、早めの交換をお願いいたします。消耗部品の交換については、販売代理店へお問い合わせください。
---	--

## 開梱および確認

このたびは、UFM-30DCC デジタルカラーコレクタをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本製品を正しくご使用して頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

### ◆ 構成表

品名	数量	備考
UFM-30DCC	1 セット	フロントモジュール リアモジュール
取扱説明書	1	(本書)

### ◆ オプション

品名	数量	備考
UFM-3DCC2C	1	デュアルチャネルオプション(ソフトウェア)
UFM-3DCC3G	1	3G-SDI オプション
DCC-OUA	1	オペレーションユニット(RS422 タイプ)
DCC-NETOU	1	オペレーションユニット(イーサネットタイプ)
コントロールケーブル	1	DCC-OUA 接続用 (PC-2076-3)
UFM-30CTL	1	WEB 制御・DCC-NETOU 制御 UFM モジュール

本製品は、ユニバーサルフレーム UF-106A、UF-106B および UF-112 に実装可能です。  
UF-106 には実装できません。  
UF-106A は最大 4 枚まで実装可能です。(UF-106APS 使用時は最大 2 枚まで実装可能)  
UF-106B は最大 6 枚まで実装可能です。(UF-106BPS 使用時は最大 4 枚まで実装可能)

**注意** UF-106A に UFM-30DCC/UFM-3DCC2C を組み込むには使用できるスロットに制限があります。スロット 2、4、5、6 に実装が可能です。スロット 1、3 には実装できません。スロット番号は UF-106A の取扱説明書を参照してください。

UFM-30DCC の操作には、DCC-OUA、DCC-NETOU または UFM-30CTL (WEB 制御) が必要です。DCC-OUA 使用時には専用のコントロールケーブル (PC-2076-3) が必要です。DCC-NETOU の接続には UFM-30CTL が必要です。  
また、1 台の UFM-30DCC を DCC-OUA と DCC-NETOU から同時制御することはできません。

DCC-OUA をご使用になる前に、DCC-OUA のバージョンが 2.00 以上、取扱説明書が 2nd Edition 以上であることを確認してください。また、デュアルチャネルモードを使用する場合は、DCC-OUA のバージョンが 3.00 以上、取扱説明書が 3rd Edition 以上であることを確認してください。DCC-OUA のバージョンの確認方法については「DCC-OUA 取扱説明書」を参照してください。もし、バージョンが異なる場合は担当営業、または販売代理店までご連絡ください。  
旧製品のオペレーションユニット DCC-OU から UFM-30DCC を制御することはできませんが、いくつかの機能が操作できませんので注意してください。(「3-1-2」参照)

## 確認

もし、品物に損傷があった場合は、直ちに運送業者にご連絡ください。品物に不足があった場合や、品物が間違っている場合は、販売代理店までご連絡ください。

# 目次

---

1. 概要および特長 .....	1
1-1. 概要 .....	1
1-2. 特長 .....	1
2. 各部の名称と機能 .....	2
2-1. 前面パネル .....	2
2-2. 背面パネル .....	2
3. 接続 .....	3
3-1. DCC-OUA との接続 .....	3
3-1-1. REMOTE コネクタ .....	4
3-1-2. 旧製品 DCC-OU の使用について .....	4
3-2. WEB ブラウザとの接続 .....	5
3-3. DCC-NETOU の接続 .....	6
3-4. 電源を入れる .....	7
3-4-1. UF-106A、UF-106B に実装した場合 .....	7
3-4-2. UF-112 に実装した場合 .....	7
3-5. メニュー操作 .....	8
3-6. DCC-OUA 制御と WEB ブラウザ制御 .....	9
3-6-1. DCC-OUA (Ver. 2.00 以上) 制御 .....	9
3-6-2. WEB ブラウザ制御 .....	9
3-6-3. DCC-OUA 操作と WEB ブラウザ操作の違い .....	10
4. DCC-OUA 使用時 .....	11
4-1. UFM-30DCC 前面パネルメニューリスト .....	11
4-1-1. カラーコレクタ 1 チャンネル構成 .....	11
4-1-1-1. 標準構成 1 チャンネルのメニュー .....	11
4-1-2. カラーコレクタ 2 チャンネル構成 (UFM-3DCC2C オプション) .....	12
4-1-2-1. モード選択 .....	12
4-1-2-2. Single Channel モードのメニュー .....	12
4-1-2-3. Dual Channel モードのメニュー .....	13
4-1-2-4. Link モードのメニュー .....	14
4-2. UFM-30DCC 前面パネルメニュー詳細 .....	15
4-2-1. カラーコレクタ (チャンネル) 選択 .....	15
4-2-2. システム設定 .....	15
4-2-3. システムステータス (表示のみ) .....	17
4-2-4. モジュール情報 (表示のみ) .....	17
5. WEB ブラウザ使用時 .....	18
5-1. UFM-30DCC 前面パネルメニューリスト .....	18
5-1-1. カラーコレクタ 1 チャンネル構成 .....	18
5-1-1-1. 標準構成 1 チャンネルのメニュー .....	18
5-1-2. カラーコレクタ 2 チャンネル構成 (UFM-3DCC2C オプション) .....	21
5-1-2-1. モード選択 .....	21
5-1-2-2. Single Channel モードメニュー .....	21
5-1-2-3. Dual Channel モードメニュー .....	21
5-1-2-4. Link モードメニュー .....	23
5-2. UFM-30DCC 前面パネルメニュー詳細 .....	25
5-2-1. カラーコレクタ (チャンネル) 選択 .....	25

5-2-2. プロセスアンプ .....	25
5-2-3. カラーコレクション .....	25
5-2-4. クリップコントロール .....	27
5-2-5. システム設定 .....	30
5-2-6. イベントメモリ .....	32
5-2-6-1. VID FRMT (VIDEO FORMAT) イベントメモリについて .....	34
5-2-7. 前面パネル設定 .....	35
5-2-8. システムステータス (表示のみ) .....	35
5-2-9. モジュール情報 (表示のみ) .....	35
6. 内部設定 .....	36
6-1. デイップスイッチ S3 .....	36
6-1-1. DCC-OUA/WEB 制御切り換え (S3-1) .....	36
6-1-2. 初期化方法 (S3-6) .....	36
6-1-3. 処理モードの切り換え(S3-3) .....	37
6-2. ジャンパ JP3 .....	38
6-2-1. DCC-OUA/WEB 制御切り換え .....	38
7. トラブルシューティング .....	39
8. 仕様および外観図 .....	40
8-1. 仕様 .....	40
8-2. 外観図 .....	42

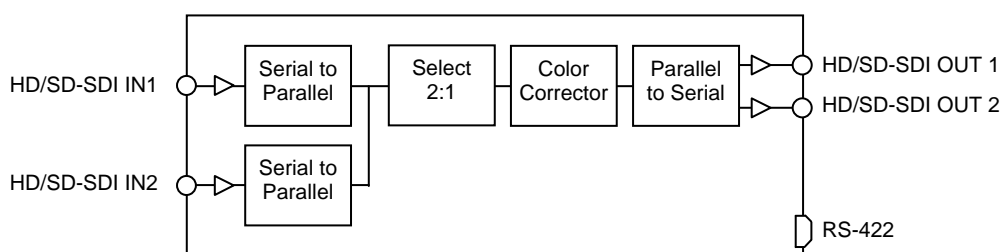
# 1. 概要および特長

## 1-1. 概要

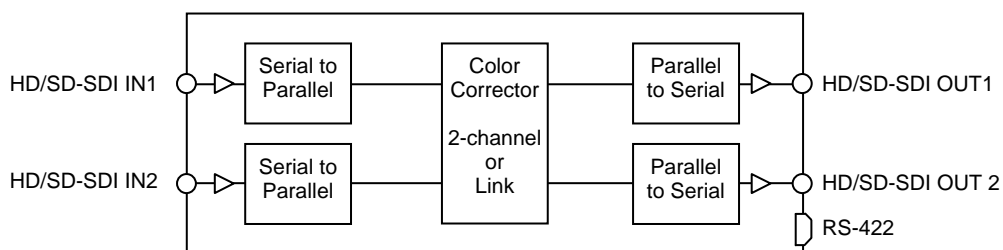
UFM-30DCC は、UF-106A、UF-106B 及び UF-112 フレームに組み込んで使用するプラグインモジュールです。HD/SD-SDI 対応のデジタルカラーコレクタとして、最新のデジタル技術を活用して開発されました。オペレーションユニット、WEB 制御、ネットワークオペレーションユニットの 3 種類のコントローラが選択できます。

## 1-2. 特長

- HD/SD SDI の 6 フォーマットに対応
- **標準構成時**：映像 2 入力 (メニュー選択) / カラーコレクション 1 チャンネル / 2 出力
- **UFM-3DCC2C 実装時**：映像 2 入力 / カラーコレクション 2 チャンネル / 2 出力



標準構成 (1 チャンネル)

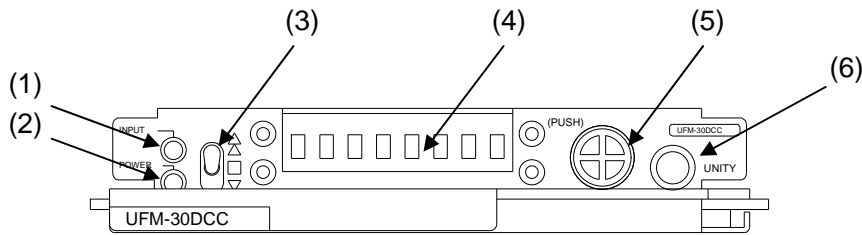


UFM-3DCC2C 実装時 (2 チャンネル)

- 3 種類のオペレーションモード (メニュー切替)
  - Single Channel** モード： カラーコレクタ 1 チャンネル 2 出力
  - Dual Channel** モード： カラーコレクタ 2 チャンネル各 1 出力 (個別設定) (オプション)
  - Link** モード： カラーコレクタ 2 チャンネル各 1 出力 (共通設定) (オプション)
- DCC-OUA 制御または WEB ブラウザ制御を選択 (内部設定)
- 豊富なカラーコレクタ機能
  - プロセスコントロール
  - カラーコレクション (WHITE/BLACK/GAMMA)
    - 3 種類のカラーコレクションモード (メニュー切替)
    - GBR 処理のバランスモード
    - YPbPr 処理のディファレンシャルモード
    - モノトーンの画作りに有効なセピアモード
  - YPbPr クリップ、GBR クリップ、コンポジットクリップ
- バイパス機能
- H/V アンシラリデータの通過/削除

## 2. 各部の名称と機能

### 2-1. 前面パネル

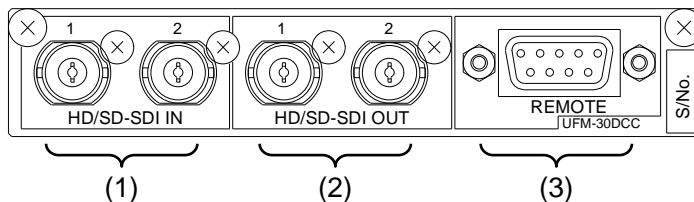


番号	名前	内容
(1)	INPUT LED	点灯：信号が正常に入力されています。 消灯：信号が入力されていません。 オペレーションモードにより動作が変わります。（下表参照）
(2)	POWER LED	電源が投入されると点灯します。
(3)	上下スイッチ	メニュー項目の移動に使用します。（「3-5. メニュー操作」参照）
(4)	LED ディスプレイ	各種設定の項目、パラメータを表示します。
(5)	メニュー コントロール	メニュー項目の移動、設定に使用します。（「3-5. メニュー操作」参照）
(6)	UNITY/表示切 換ボタン	メニュー項目の初期値と現在の値の切り換えを行います。 メニュー番号・項目の表示時は、詳細表示・略称表示の切り換えを行います。

#### ◆ INPUT LED

Operation Mode	LED	内容
Single Channel モード	点灯	選択されたチャンネルに信号が正常に入力されています。
	消灯	選択されたチャンネルに信号が入力されていません。
Dual Channel モード	点灯	チャンネル 1、2 のいずれかまたは両方に信号が正常に入力されています。
	消灯	チャンネル 1、2 ともに信号が入力されていません。
Link モード	点灯	チャンネル 1、2 ともに信号が正常に入力されています。
	消灯	チャンネル 1、2 のいずれかまたは両方に信号が入力されていません。

### 2-2. 背面パネル



番号	名前	内容
(1)	HD/SD-SDI IN 1, 2	HD/SD-SDI 信号の入力端子です。
(2)	HD/SD-SDI OUT 1, 2	HD/SD-SDI 信号の出力端子です。
(3)	REMOTE	DCC-OUA と接続します。



### 3. 接続

本製品は UF-106A、UF-106B および UF-112 へ組込むことが可能です。下図の例を参照して周辺機器との接続を行ってください。

UF-106A、UF-106B および UF-112 への組み込み方法については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

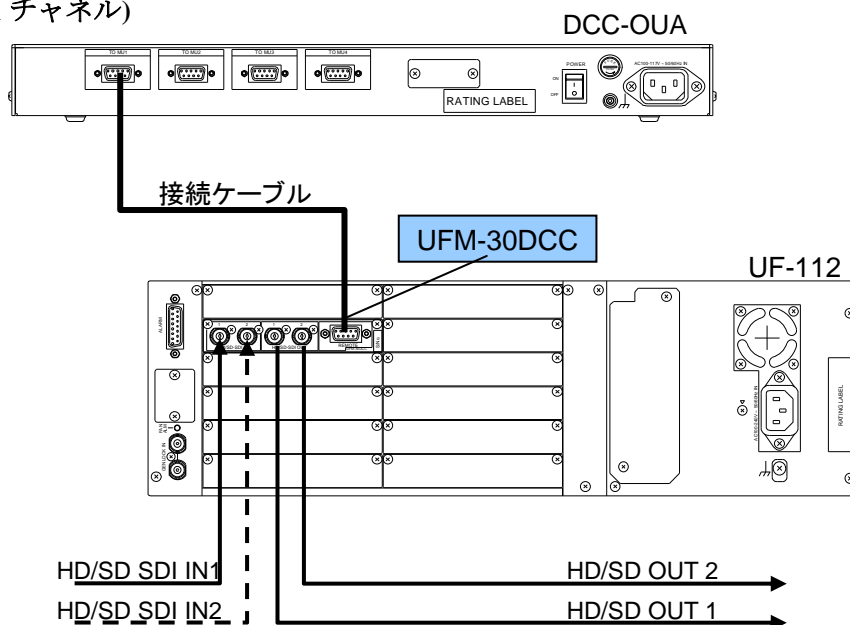
**注意** 接続は全ての機器の電源が切れている状態で行ってください。

#### 3-1. DCC-OUA との接続

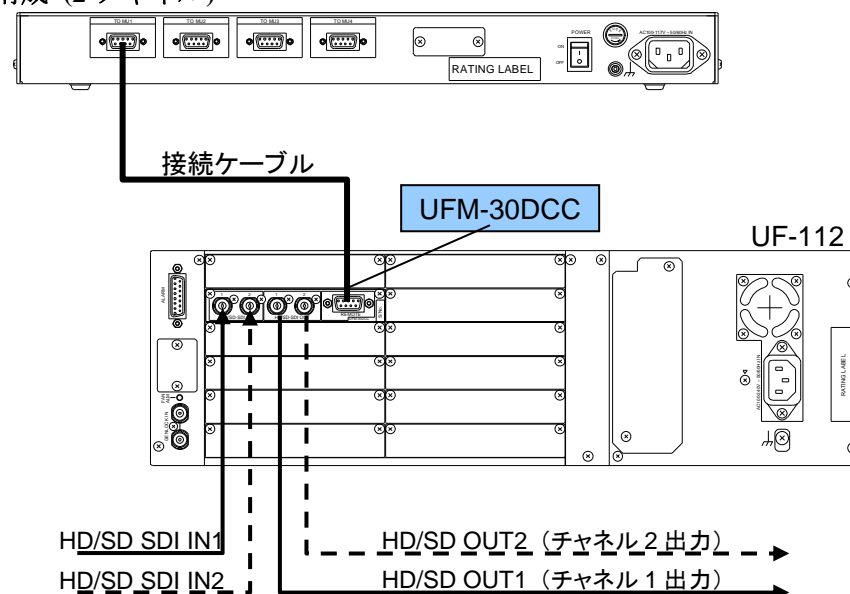
DCC-OUA との接続には別途専用の接続ケーブル（PC-2076-3）が必要です。REMOTE コネクタを使用して接続します。詳しくは「DCC-OUA 取扱説明書（2nd Edition 以降）」を参照してください。

➤ 例 UF-112 背面パネル: UFM-30DCC

◆ 標準構成 (1チャンネル)



◆ オプション構成 (2チャンネル)

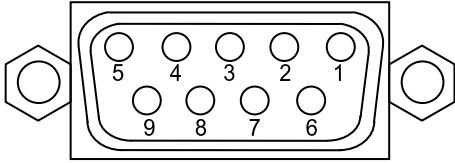


### 3-1-1. REMOTE コネクタ

---

◆ コネクタ

D-sub 9 ピン、メス（インチネジ使用）



◆ 端子配列表（D-sub 9 ピン メス）

ピン番号	信号名	信号内容
1	Reserved	未使用
2	TX (-)	TRANSMIT-
3	RX (+)	RECEIVE+
4	—	—
5	—	—
6	—	—
7	TX (+)	TRANSMIT+
8	RX (-)	RECEIVE-
9	FG	フレームグラウンド

### 3-1-2. 旧製品 DCC-OU の使用について

---

DCC-OU を UFM-30DCC に接続して使用した場合下記の機能設定はできません。

- ・ SPLIT 機能設定
- ・ GAMMA Curve 設定
- ・ GBR クリップ設定
- ・ コンポジットクリップ設定

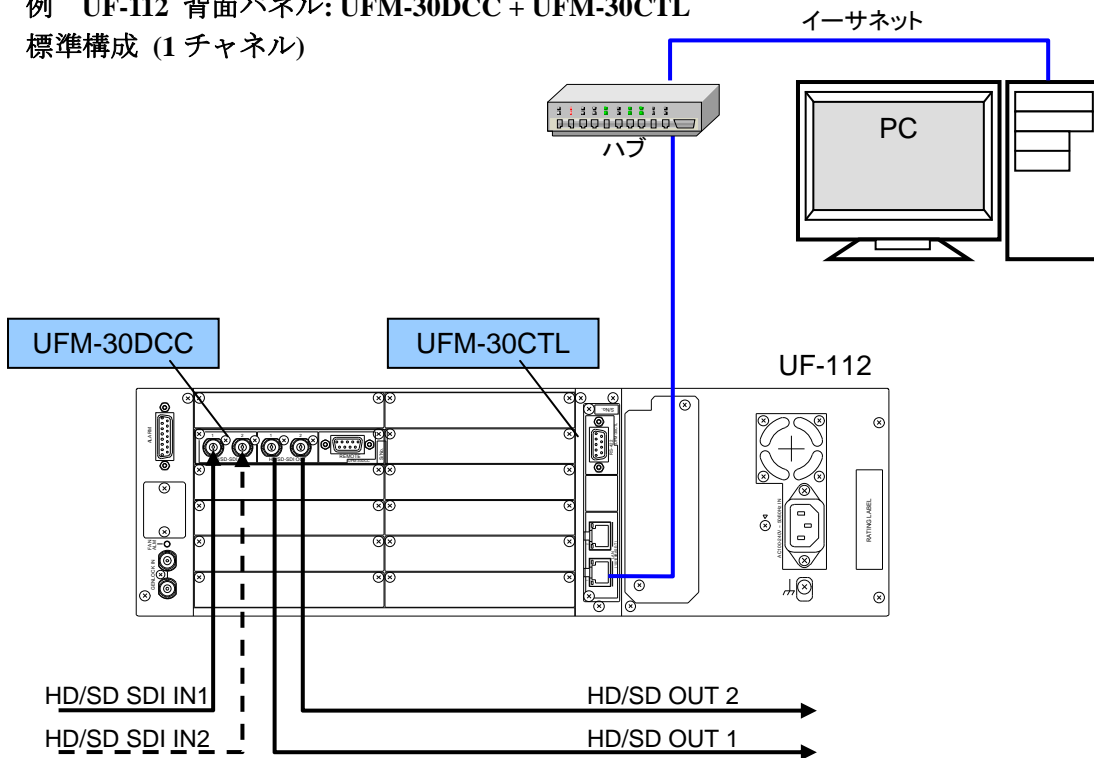
UFM-30DCC が Single Channel モード時のみ使用できます。

## 3-2. WEB ブラウザとの接続

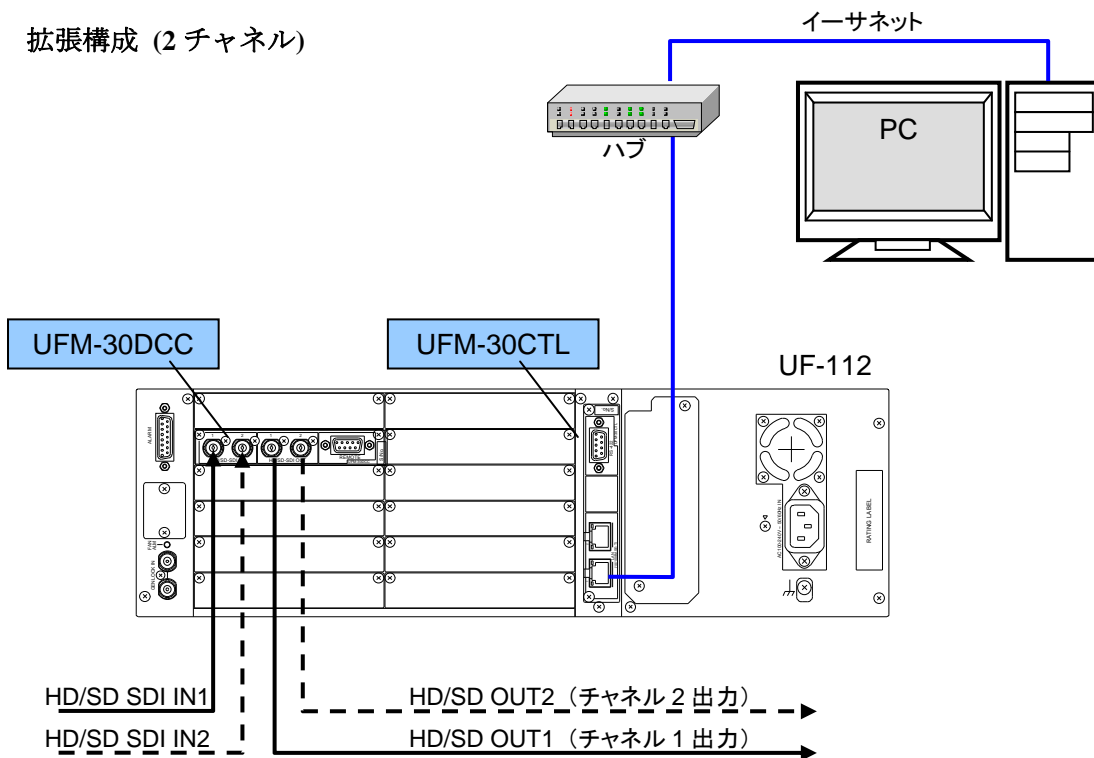
UFM-30DCC は UFM-30CTL とイーサネット接続された PC 上で WEB ブラウザから制御します。UFM-30CTL と PC との接続について、詳しくは「UFM-30CTL 取扱説明書」を参照してください。

➤ 例 UF-112 背面パネル: UFM-30DCC + UFM-30CTL

◆ 標準構成 (1 チャンネル)



◆ 拡張構成 (2 チャンネル)

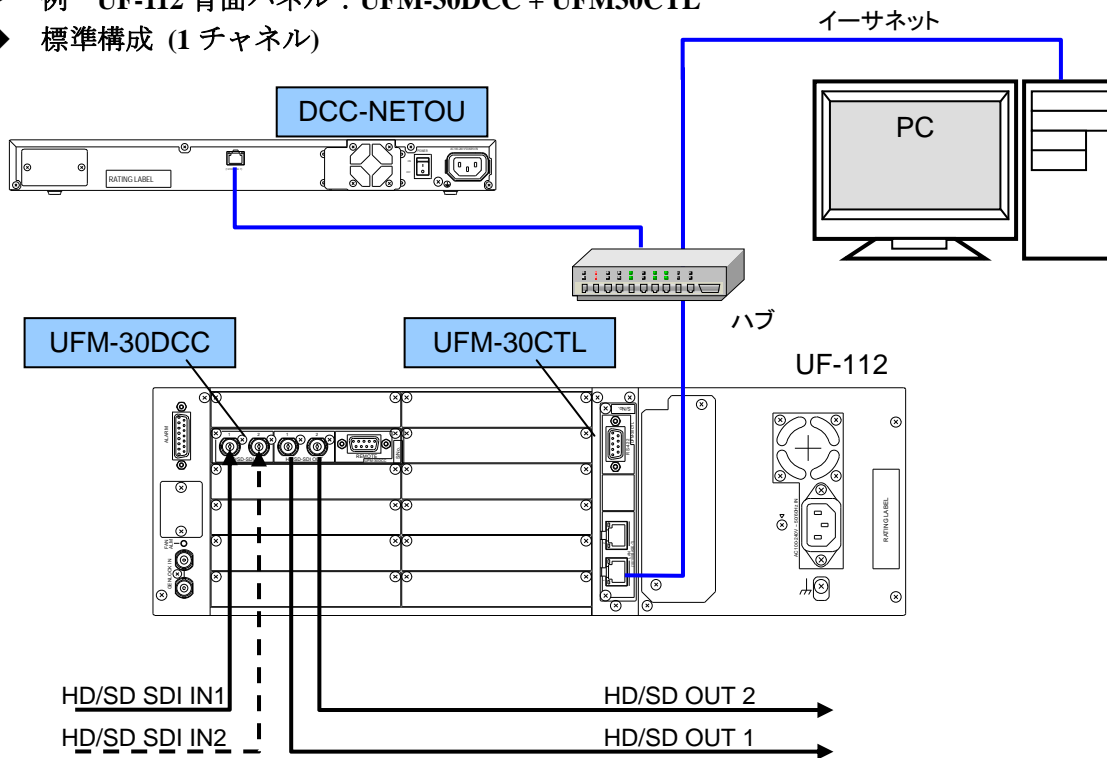


### 3-3. DCC-NETOU の接続

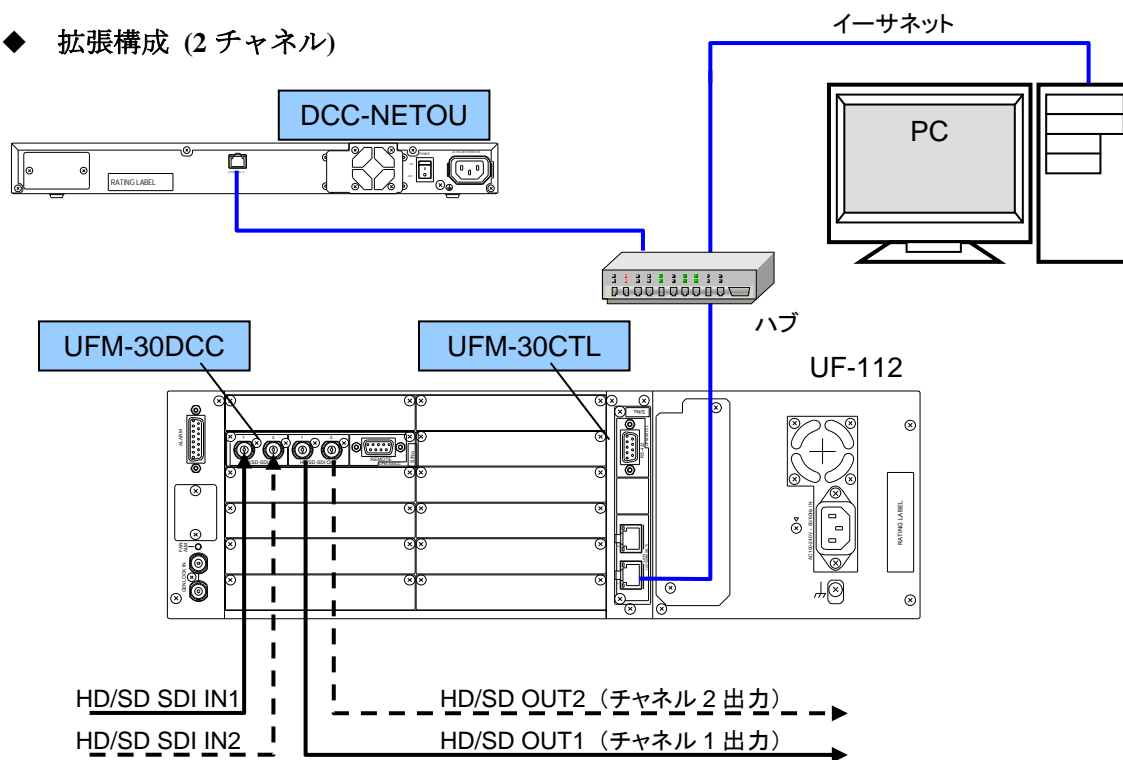
UFM-30DCC は UFM-30CTL とイーサネットで接続された DCC-NETOU から制御します。  
UFM-30CTL と DCC-NETOU との接続について、詳しくは「DCC-NETOU 取扱説明書」を参照してください。

➤ 例 UF-112 背面パネル : UFM-30DCC + UFM30CTL

◆ 標準構成 (1 チャンネル)



◆ 拡張構成 (2 チャンネル)

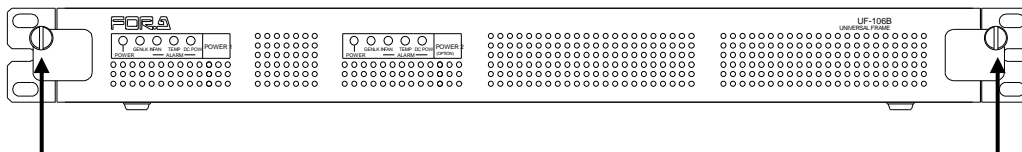


## 3-4. 電源を入れる

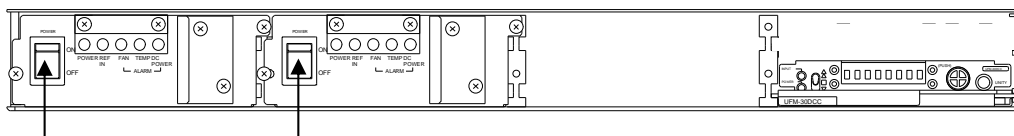
### 3-4-1. UF-106A、UF-106B に実装した場合

#### ◆ 例 UF-106B

- 1) 左右のネジを緩めて手前に引き、UF-106B の前面パネルを開けます。

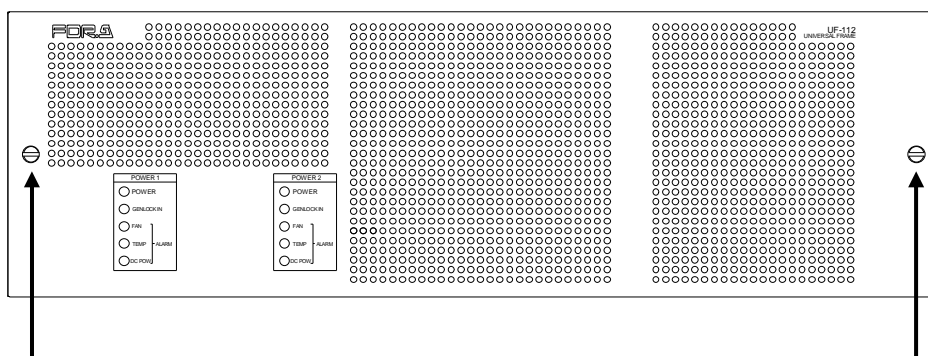


- 2) 全ての機器が正しく接続されたのを確認して、電源スイッチを ON にします。

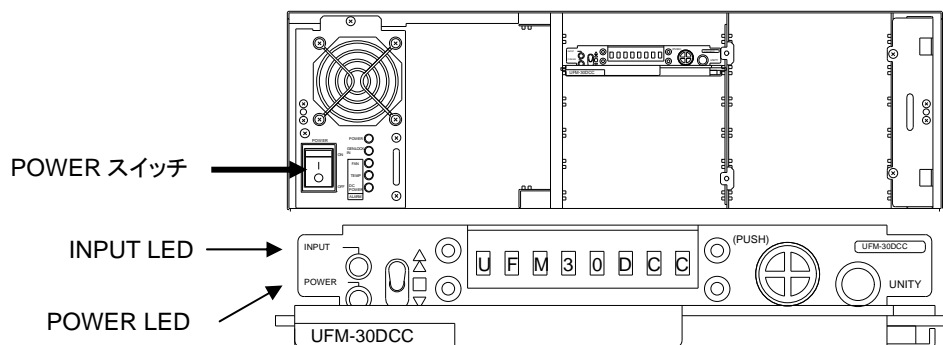


### 3-4-2. UF-112 に実装した場合

- 1) 左右のネジを緩めて手前に引き、UF-112 の前面パネルを開けます。

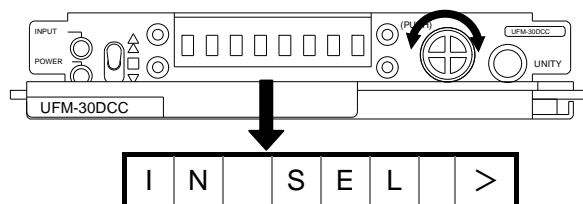


- 2) 全ての機器が正しく接続されたのを確認して、UFM フレームの電源を ON にします。起動が完了すると、下図のように『UFM30DCC』と前面パネルに表示されます。ビデオ信号、電源が入力されていると、INPUT、POWER ランプがそれぞれ緑に点灯します。

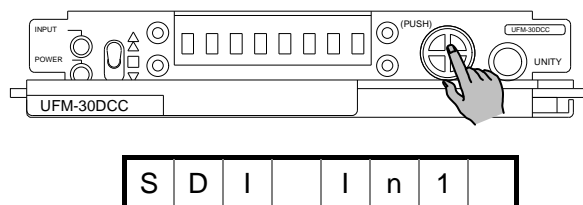


## 3-5. メニュー操作

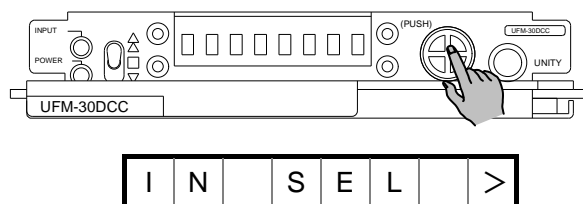
- 1) コントロールを回して、設定したい項目をディスプレイに表示します。



- 2) コントロールを押すと、その項目の設定値が表示されます。



- 3) コントロールを回して値を変更します。  
4) コントロールを押して変更を確定します。メニューが表示モードへ戻ります。



1)~4)の操作を行い、必要な項目を全て設定します。

### ◆ カテゴリ間を移動する

上下スイッチを使用すると、System Setup、System Status、Module Information などのカテゴリ単位でメニュー間を移動することができます。

### ◆ メニューカテゴリ内の設定を表示する

カテゴリ名を表示し UNITY ボタンを押します。画面上で、カテゴリ内のメニュー項目の設定が横にスクロールしながら次々と表示されます。

### ◆ 初期値に戻す

メニュー項目を表示し、UNITY ボタンを押します。その項目の値が初期値に戻ります。

### ◆ 値を元に戻す

コントロールを回して値を変更した後で前の値に戻りたいときは(コントロールを押すと元に戻せません)、上下スイッチを上へ動かします。再び変更した値にするときは上下スイッチを下へ動かします。コントロールを押すと表示されている値に確定されます。

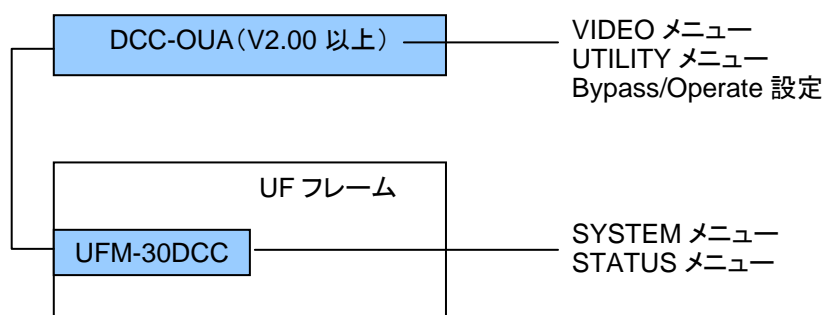
## 3-6. DCC-OUA 制御と WEB ブラウザ制御

UFM-30DCC は、DCC-OUA または、UFM-30CTL と組み合わせて LAN 経由にて PC 上の WEB ブラウザおよび DCC-NETOU から操作します。DCC-OUA/WEB ブラウザ操作の切り換えは、基板内部のディップスイッチとジャンパで行います。初期設定は DCC-OUA による操作です。（「6. 内部設定」）

DCC-OUA と接続するか WEB ブラウザと接続するかにより、UFM-30DCC の前面パネルで操作できるメニューが異なります。詳しくは次のページを参照してください。

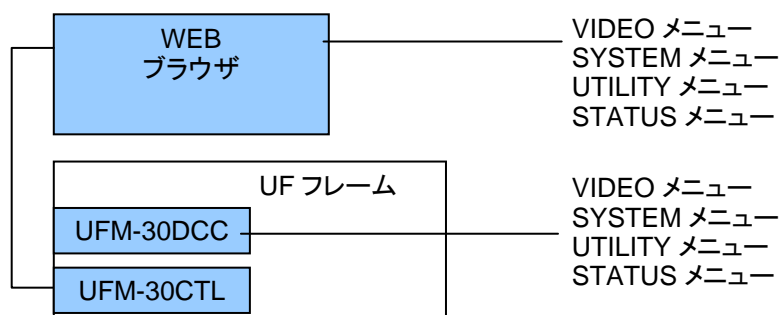
### 3-6-1. DCC-OUA (Ver. 2.00 以上) 制御

VIDEO メニュー（プロセスアンプ、カラーコレクション、スプリットモード、ビデオクリップ設定）および UTILITY メニュー（イベント等）は UFM-30DCC 上では設定/表示できません。DCC-OUA から操作します。入力信号の選択は DCC-OUA からはできません。（DCC-OUA の操作については「DCC-OUA 取扱説明書」を参照）



### 3-6-2. WEB ブラウザ制御

UFM-30DCC および WEB ブラウザでは、ほぼ同じメニューを設定/表示できます。



### 3-6-3. DCC-OUA 操作と WEB ブラウザ操作の違い

UFM-30DCC を DCC-OUA と組み合わせて使用する場合は、カラーコレクション機能は DCC-OUA で操作し、システム設定などは UFM-30DCC で行います。

UFM-30DCC を WEB ブラウザと接続して使用する場合は、UFM-30DCC 上、WEB ブラウザ上でほぼ同じ操作ができます。下記の表はコントローラと操作可能な主な項目のリストです。

操作方法 コントローラ 操作項目	UFM-30DCC + DCC-OUA		UFM-30DCC + WEB ブラウザおよび DCC-NETOU		
	UFM-30DCC (前面パネル)	DCC-OUA	UFM-30DCC (前面パネル)	WEB ブラウザ	DCC- NETOU
Input Select	○	×	○	○	○
Bypass/Operate	×	○	○	○	○
Loss Mode	○	×	○	○	×
Back Color	○	×	○	○	×
H/V Ancillary Mode	○	×	○	○	×
Output Delay	○	×	○	○	×
Test Signal	○	×	○	○	×
Operation Mode (Single/Dual/Link)	○	×	○	○	×
Panel Lock	○	×	○	×	×
Start Up Event Load	×	×	○	○	×
Auto Event Load	×	×	○	○	×
Event Load/Event Save	×	○	○	○	○
Clip Event Load/ Clip Event Save	×	○	×	×	×
Save File	×	×	×	○	×
Restore	×	×	×	○	×
カラーコレクタチャンネル 1、2の選択	○	○	○	○	○
プロセスアンプ機能	×	○	○	○	○
カラーコレクション機能	×	○	○	○	○
スプリットモード選択	×	○	○	○	○
ビデオクリップ機能	×	○	○	○	○

○：設定可能

×：設定不可

UFM-30DCC の前面パネルから操作可能な項目については、この後の章を参照してください。DCC-OUA からの操作については「DCC-OUA 取扱説明書」を参照してください。WEB ブラウザからの操作については「UFM-30CTL 取扱説明書」を参照してください。

DCC-NETOU から UFM-30DCC を操作する場合に UFM-30DCC の前面パネルから操作可能な項目は、WEB ブラウザ操作時と同じになります。DCC-NETOU からの操作については「DCC-NETOU 取扱説明書」を参照してください。

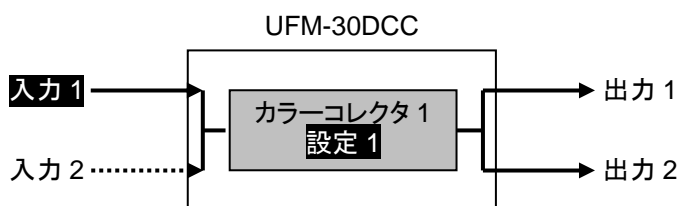


## 4. DCC-OUA 使用時

### 4-1. UFM-30DCC 前面パネルメニューリスト

#### 4-1-1. カラーコレクタ 1 チャンネル構成

入力 1 選択時



入力 2 選択時



##### 4-1-1-1. 標準構成 1 チャンルのメニュー

メニュー分類	設定内容概略
SYSTEM	入力ビデオの選択、信号ロス時の動作、アンシラリデータ処理等を設定します。
STATUS	ビデオ信号、基板の状態についてのデータを表示します。

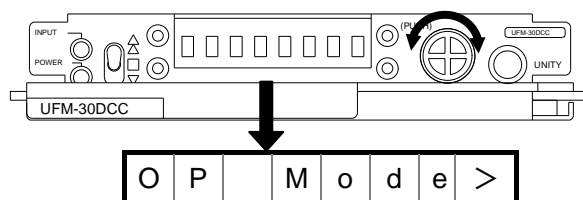
分類	メニュー			参照		
	番号	項目	略称表示			
SYSTEM	1	System Setup	System	4-2-2		
	1-1	Input Select>	IN SEL>			
	1-2	Loss Mode>	LossMOD>			
	1-3	Back Color>	BColor>			
	1-4	H Ancillary Mode	H ANCI>			
	1-5	V Ancillary Mode	V ANCI>			
	1-6	Output Delay>	Out DLY>			
	1-9	Test Signal>	TESTSIG>			
	1-11	Front Brightness>	Bright>			
	1-12	Panel Lock>	Lock >			
	STATUS	2	System Status		SYSTEMSTS	4-2-3
		2-1	Selected SDI Input>		SEL IN>	
2-2		SDI IN1 Format>	IN1 STS>			
2-3		SDI IN2 Format>	IN2 STS>			
3		Module Information	MDL INFO	4-2-4		
3-1		External Control Mode>	CTL Mod>			
3-2	Version Info>	Version>				
3-3	FPGA Version Info>	FPGA>				
3-4	UFM-3DCC2C Option Info>	Dual Ch>				
3-5	UFM-3DCCMF Option Info>	Multi>				
	3-6	UFM-3DCC3G Option Info>	3G Op>			

## 4-1-2. カラーコレクタ 2 チャンネル構成 (UFM-3DCC2C オプション)

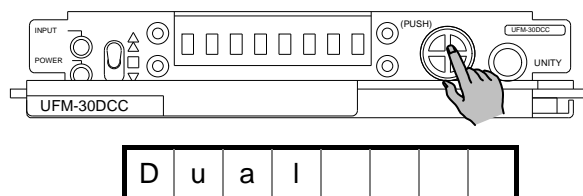
### 4-1-2-1. モード選択

2 チャンネル構成時は、**Single Channel** モード、2 系統の入力を個別の設定で処理する **Dual Channel** モード、2 系統の入力を同じ設定で処理する **Link** モードの 3 つのモードを使用できます。

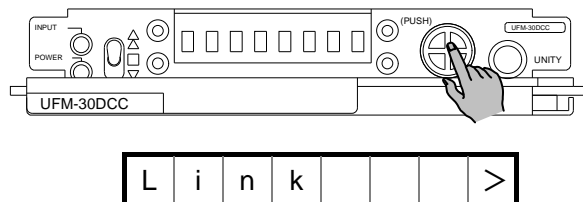
- 1) コントロールを回して、**OP Mode>**をディスプレイに表示します。



- 2) コントロールを押します。初期設定は Dual Channel モード (**Dual**) です



- 3) コントロールを回し、**Single**、**Dual**、**Link** からモードを選択します。コントロールを押します。



#### 注意

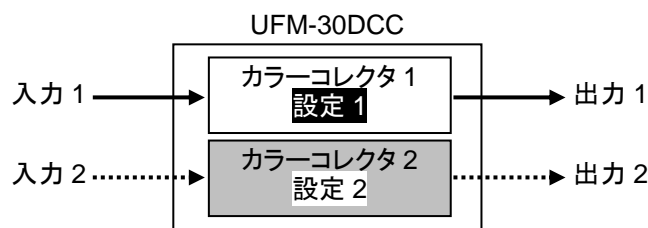
Single Channel モードの設定、Link モードの設定、および Dual Channel モードの「設定 1」は共通です。カラーコレクション等の設定変更後にオペレーションモードを変更すると、変更後の設定が適用されますので注意してください。設定を戻したい場合は、イベントに保存しておき読み込んでください。

### 4-1-2-2. Single Channel モードのメニュー

2 チャンネル構成時の Single Channel モードのメニューは、標準構成 1 チャンネルのメニューとほとんど同じです。「1-10 **Operation Mode**」を設定できる場所だけが異なります。「4-1-1. カラーコレクタ 1 チャンネル構成」を参照してください。

### 4-1-2-3. Dual Channel モードのメニュー

Dual Channel モードでは、2つのカラーコレクタを個別設定で使用できます。まず **Select Color Corrector 1 or 2** 項目でチャンネルを選択してから設定を行ってください。

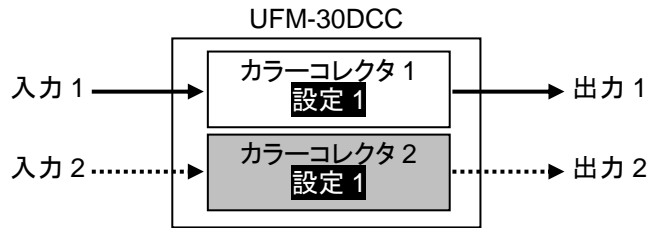


メニュー分類	設定内容概略
DUAL	設定を行うカラーコレクタを選択します。
SYSTEM	オペレーションモードの選択、信号ロス時の動作、アンシラリデータ処理等を設定します。
STATUS	ビデオ信号、基板の状態についてのデータを表示します。

分類	メニュー			参照		
	番号	項目	略称表示			
DUAL	-	Select Color Corrector 1 or 2>	Sel CC>	4-2-1		
SYSTEM	1	System Setup	System	4-2-2		
	1-2	Loss Mode>	LossMOD>			
	1-3	Back Color>	BColor>			
	1-4	H Ancillary Mode	H ANCI>			
	1-5	V Ancillary Mode	V ANCI>			
	1-6	Output Delay>	Out DLY>			
	1-9	Test Signal>	TESTSIG>			
	1-10	Operation Mode>	OP Mode>			
	1-11	Front Brightness>	Bright>			
	1-12	Panel Lock>	Lock >			
	1-13	Input Status Display Set>	IN DSP>			
	STATUS	2	System Status		SYSTEMSTS	4-2-3
		2-2	SDI IN1 Format>		IN1 STS>	
2-3		SDI IN2 Format>	IN2 STS>			
3		Module Information	MDL INFO	4-2-4		
3-1	External Control Mode>	CTL Mod>				
3-2	Version Info>	Version>				
3-3	FPGA Version Info>	FPGA>				
3-4	UFM-3DCC2C Option Info>	Dual Ch>				
3-5	UFM-3DCCMF Option Info>	Multi>				
3-6	UFM-3DCC3G Option Info>	3G Op>				

#### 4-1-2-4. Link モードのメニュー

Link モードは2つのカラーコレクタを共通設定で使用します。



メニュー分類	設定内容概略
SYSTEM	オペレーションモード、信号ロス時の動作、アンシラリデータ処理等を設定します。
STATUS	ビデオ信号、基板の状態についてのデータを表示します。

分類	メニュー			参照
	番号	項目	略称表示	
SYSTEM	<b>1</b>	System Setup	System	4-2-2
	1-2	Loss Mode>	LossMOD>	
	1-3	Back Color>	BColor>	
	1-4	H Ancillary Mode	H ANCI>	
	1-5	V Ancillary Mode	V ANCI>	
	1-7	Output Delay1>	Out DL1>	
	1-8	Output Delay2>	Out DL2>	
	1-9	Test Signal>	TESTSIG>	
	1-10	Operation Mode>	OP Mode>	
	1-11	Front Brightness>	Bright>	
	1-12	Panel Lock>	Lock >	
	STATUS	<b>2</b>	System Status	
2-2		SDI IN1 Format>	IN1 STS>	
2-3		SDI IN2 Format>	IN2 STS>	
<b>3</b>		Module Information	MDL INFO	4-2-4
3-1		External Control Mode>	CTL Mod>	
3-2		Version Info>	Version>	
3-3	FPGA Version Info>	FPGA>		
	3-4	UFM-3DCC2C Option Info>	Dual Ch>	
	3-5	UFM-3DCCMF Option Info>	Multi>	
	3-6	UFM-3DCC3G Option Info>	3G Op>	

## 4-2. UFM-30DCC 前面パネルメニュー詳細

### 4-2-1. カラーコレクタ (チャンネル) 選択

モード	メニュー項目	初期値	設定範囲	内容
Dual	Select Color Corrector 1 or 2>	Correct1	Correct1, Correct2	設定するカラーコレクタを選択します。

### 4-2-2. システム設定

メニュー			初期値	設定範囲	内容
番号	モード	項目			
1	System Setup				
1-1	Single	Input Select >	SDI In1	SDI In1, SDI In2	入力チャンネルを選択します。
1-2	Single Dual Link	Loss Mode >	BackCOL	BackCOL, ColorBar, Disable	無信号時の動作を設定します。
1-3	Single Dual Link	Back Color>	Black	Black, Gray, Blue	無信号時の背景色を選択します。
1-4	Single Dual Link	H Ancillary Mode>	Through	Through, Delete	<b>Through</b> : アンシラリデータは一切操作されず、そのまま出力されます。
1-5	Single Dual Link	V Ancillary Mode>	Through	Through, Delete	<b>Delete</b> : アンシラリデータは全て削除されます。
1-6	Single Dual	Output Delay>	---	(*1)	出力遅延を設定します。設定範囲はフォーマットごとに異なり、最小遅延から約 1H まで設定できます。 入力信号フォーマットが変わると最小値に戻ります。
1-7	Link	Output Delay1>	---	(*1)	出力 1 の出力遅延を設定します。設定範囲はフォーマットごとに異なり、最小遅延から約 1H まで設定できます。 入力信号フォーマットが変わると最小値に戻ります。
1-8	Link	Output Delay2>	---	(*1)	出力 2 の出力遅延を設定します。設定範囲はフォーマットごとに異なり、最小遅延から約 1H まで設定できます。 入力信号フォーマットが変わると最小値に戻ります。
1-9	Single Dual Link	Test Signal>	Off	Off, Full CB, SMPTE CB, RAMP	テスト信号の発生を行います。 VIDEO メニューの設定にかかわらず、フル画面で表示されます。
1-10	Single Dual Link	Operation Mode>	Dual	Single, Dual, Link	UFM-30DCC の動作モードを設定します。(*2) <b>Single</b> : Single Channel モード <b>Dual</b> : Dual Channel モード <b>Link</b> : Link モード
1-11	Single Dual Link	Front Brightness>	50%	25%, 50%, 75%, 100%,	前面パネルの明るさを選択します。

1-12	Single Dual Link	Panel Lock>	Operate	Operate, Lock	Lock 設定にするとパネルからのメニュー操作を全て禁止します。メニューコントロールを約2秒以上押した状態で解除 (Operate) になります。
1-13	Dual	Input Status Display Set>	1min	Off, 1min, 5min	何も操作しなかった場合に、チャンネルごとの入力信号の有無を自動で表示する時間を設定します。(*3) <b>Off</b> : 自動表示しません。 <b>1min</b> : 最終操作から1分後に自動表示されます。 <b>5min</b> : 最終操作から5分後に自動表示されます。

**(\*1) Output Delay 設定範囲**

System Format	Output Delay 設定範囲
525/60	200CLK~1716CLK
1080/59.94i	140CLK~2200CLK
720/59.94p	140CLK~1650CLK
625/50	200CLK~1728CLK
1080/50i	140CLK~2640CLK
720/50p	140CLK~1980CLK

**(\*2) Operation Mode 項目**

Operation Mode 項目は標準構成の場合は表示されません。オプション構成の場合は、Single Channel モード時にも表示されます。

Single Channel モードの設定、Link モードの設定および Dual Channel モードの「設定 1」は共通です。カラーコレクション等の設定変更後にオペレーションモードを変更すると、変更後の設定が適用されますので注意してください。設定を戻したい場合は、イベントに保存しておき読み込んでください。

**(\*3) Input Status Display Set**

最後に操作してから一定時間操作せずにいると、入力の有無を、○ (入力あり) × (入力なし) で自動表示することができます。以下の例では、チャンネル1は入力があり、チャンネル2は無入力であることを示します。

表示例： IN1○IN2×

### 4-2-3. システムステータス（表示のみ）

メニュー			表示
番号	モード	項目	
2		System Setup	
2-1	Single	Selected SDI Input >	選択している入力信号を表示します。
2-2	Single Dual Link	SDI IN1 Format >	SDI IN1 に入力されているビデオ信号のフォーマットを表示します。
2-3	Single Dual Link	SDI IN2 Format >	SDI IN2 に入力されているビデオ信号のフォーマットを表示します。

### 4-2-4. モジュール情報（表示のみ）

メニュー		内容
番号	項目	
3	Module Information	
3-1	External Control Mode>	外部コントロール方法を表示します。DCC-OUA から制御中は、 <b>OU Mode</b> と表示されます。
3-2	Version>	ファームウェアのバージョンを表示します。
3-3	FPGA>	FPGA のバージョンを表示します。
3-4	UFM-3DCC2C Option Info>	Dual Channel オプションの有無を表示します。 <b>Install</b> : デュアルチャネルオプション有り <b>None</b> : デュアルチャネルオプション無し
3-5	UFM-3DCCMF Option Info>	マルチフォーマットオプションの有無を表示します。 <b>Install</b> : マルチフォーマットオプション有り <b>None</b> : マルチフォーマットオプション無し ※3G-SDI オプションが追加されている場合、この項目は <b>Install</b> と表示されます。
3-6	UFM-3DCC3G Option Info>	3G-SDI オプションの有無を表示します。 <b>Install</b> : 3G-SDI オプション有り <b>None</b> : 3G-SDI オプション無し

<p><b>注意</b></p>	<p><b>データ自動保存について</b></p> <p>UFM-30DCC は、最後に設定された状態を自動でデータ保存しています。設定変更後、3 秒以上経過後に電源を切ってください。</p> <p>設定変更後、3 秒以内に電源を切った場合設定が保存されない場合があります。</p>
------------------	---

## 5. WEB ブラウザ使用時

DCC-NETOU や PC 上の WEB ブラウザから UFM-30DCC を制御するときは、UFM-30DCC が組み込まれている UFM フレームに UFM-30CTL を組み込みます。さらに UFM-30DCC 基板上のディスプレイスイッチ、およびジャンパ設定で DCC-OUA 制御を WEB 制御に変更する必要があります。（「6. 内部設定」）WEB ブラウザ使用時も、UFM-30DCC 前面パネルから制御できますが、DCC-OUA 等のオペレーションユニットからは制御できなくなります。

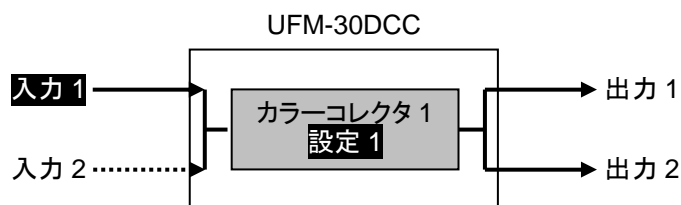
WEB からの制御については「UFM-30CTL 取扱説明書」を参照してください。

DCC-NETOU から UFM-30DCC を操作する場合に UFM-30DCC の前面パネルから操作可能な項目は、WEB ブラウザ操作時と同じになります。DCC-NETOU からの操作については「DCC-NETOU 取扱説明書」を参照してください。

### 5-1. UFM-30DCC 前面パネルメニューリスト

#### 5-1-1. カラーコレクタ 1 チャンネル構成

入力 1 選択時



入力 2 選択時



##### 5-1-1-1. 標準構成 1 チャンネルのメニュー

メニュー分類	設定内容概略
Video Process AMP	プロセスアンプを設定します。
Color Correction	カラーコレクションを設定します。
Video Clip	ビデオクリップを設定します。
SYSTEM	入力選択、信号ロス、アンシラリデータ処理等を設定します。
UTILITY	イベントメモリ、LED 画面設定を操作します。
STATUS	ビデオ信号、基板の状態についてのデータを表示します。

**注意** Bypass/Operate 項目 (下表 4-02) が **Bypass** に設定されているときは、**VIDEO** メニューの項目はすべて設定できません。Operate に変更してから設定を行ってください。



◆ Video Process AMP メニュー

メニュー				参照
番号	Correction Mode 設定 (*1)	項目	略称表示	
<b>1</b>		<b>Video Process AMP</b>	<b>Process</b>	5-2-2
1-01	DIF, BAL, SEPIA	Video Level >	VID LVL>	
1-02	DIF, BAL, SEPIA	Y Level >	Y Level>	
1-03	DIF, BAL	Chroma Level >	C Level>	
1-04	DIF, BAL, SEPIA	Setup/Black Level >	Blk LVL>	
1-05	DIF, BAL	Hue >	Hue >	

(\*1)「2-02 Correction Mode」が SEPIA に設定されている場合は Chroma Level と Hue は設定できません。

◆ Color Correction メニュー

メニュー				参照
番号	Correction Mode 設定 (*1)	項目	略称表示	
<b>2</b>		<b>Color Correction</b>	<b>Correct</b>	5-2-3
2-01	DIF, BAL, SEPIA	Split Mode >	Split>	
2-02	--	Correction Mode >	CRT MOD>	
2-03	DIF, BAL	Group Adjustment >	GRP ADJ>	
2-04	DIF, BAL	White Level Red >	White R>	
2-05	DIF, BAL	White Level Green >	White G>	
2-06	DIF, BAL	White Level Blue >	White B>	
2-07	DIF, BAL	Black Level Red >	Black R>	
2-08	DIF, BAL	Black Level Green >	Black G>	
2-09	DIF, BAL	Black Level Blue >	Black B>	
2-10	DIF, BAL, SEPIA	Gamma Curve >	Gamma >	
2-11	DIF, BAL	Gamma Level Red >	Gamma R>	
2-12	DIF, BAL, SEPIA	Gamma Level Green >	Gamma G>	
2-13	DIF, BAL	Gamma Level Blue >	Gamma B>	
2-14	SEPIA	Sepia Level >	Sepia L>	
2-15	SEPIA	Sepia Color >	Sepia C>	

(\*1) 「2-02 Correction Mode」のモード設定により調整できる項目が変わります。

◆ Video Clip メニュー

メニュー				参照
番号	Video Clip Mode 設定 (*1)	項目	略称表示	
<b>3</b>		<b>Video Clip</b>	<b>VID Clip</b>	5-2-4
3-01	---	Video Clip Mode>	CLP MOD>	
3-02	YPbPr	Y White Clip>	Y White>	
3-03	YPbPr	Y Black Clip>	Y Black>	
3-04	YPbPr	Chroma Clip>	C Clip>	
3-05	GBR	GBR White Clip>	GBR WHT>	
3-06	GBR	GBR Black Clip>	GBR BLK>	
3-07	VBS	Composite White Clip>	VBS WHT>	
3-08	VBS	Composite Black Clip>	VBS BLK>	

(\*1) 「3-01 Video Clip Mode」のモード設定により調整できる項目が変わります。

◆ SYSTEM メニュー

メニュー			参照
番号	項目	略称表示	
4	System Setting	System	5-2-5
4-01	Input Select>	IN SEL>	
4-02	Bypass/Operate>	By-Op>	
4-03	Loss Mode>	LossMOD>	
4-04	Back Color>	BColor>	
4-05	H Ancillary Mode>	H ANCI>	
4-06	V Ancillary Mode>	V ANCI>	
4-07	Output Delay>	Out DLY>	
4-10	Test Signal	Test SIG	

◆ UTILITY メニュー

メニュー			参照
番号	項目	略称表示	
5	Event Memory	EventMEM	5-2-6
5-01	Start Up Event Load> (*1)(*2)	STUP EL>	
5-02	Auto Event Load> (*1)	Auto EL>	
5-03	Event Load> (*1)(*2)	Ev Load>	
5-04	Event Save> (*1)(*2)	Ev Save>	
6	Front Panel Setting	PanelSET	5-2-7
6-01	Front Brightness>	Bright>	
6-02	Panel Lock>	Lock>	

(\*1) 「4-02 Bypass/Operate」が **Bypass** に設定された場合、設定変更できなくなります。設定しようとする時、「In Bypass, it doesn't operate」の警告メッセージが表示されます。

(\*2) Auto Event Load 項目を **Enable** に設定すると、Event Load / Event Save 操作はできません。また、Auto Event Load 項目設定が **Enable** のまま電源を切り、再度電源を投入した場合、Start Up Event Load 設定よりも Auto Event Load 設定が優先されて起動します。また、Auto Event Load 項目設定が **Enable** のときは、Start Up Event Load 項目の設定変更はできません。設定しようとする時、「Auto Event Load Enable!」の警告メッセージが表示されます。

◆ STATUS メニュー

メニュー			参照
番号	項目	略称表示	
7	System Status	SYSTEMSTS	5-2-8
7-01	Selected SDI Input>	SEL IN>	
7-02	SDI IN1 Format>	IN1 STS>	
7-03	SDI IN2 Format>	IN2 STS>	
8	Module Information	MDL INFO	5-2-9
8-01	Slot Number>	Slot NO>	
8-02	External Control Mode>	CTL Mod>	
8-03	Version Info>	Version>	
8-04	FPGA Version Info>	FPGA>	
8-05	UFM-3DCC2C Option Info>	Dual Ch>	
8-06	UFM-3DCCMF Option Info>	Multi>	
8-07	UFM-3DCC3G Option Info>	3G Op>	

## 5-1-2. カラーコレクタ 2 チャンネル構成 (UFM-3DCC2C オプション)

### 5-1-2-1. モード選択

2チャンネル構成時は、**Single Channel** モード、2系統の入力を個別の設定で処理する **Dual Channel** モード、2系統の入力を同じ設定で処理する **Link** モードの3つを使用できます。SYSTEM メニューの「4-11 Operation Mode」でモードを選択してください。

#### 注意

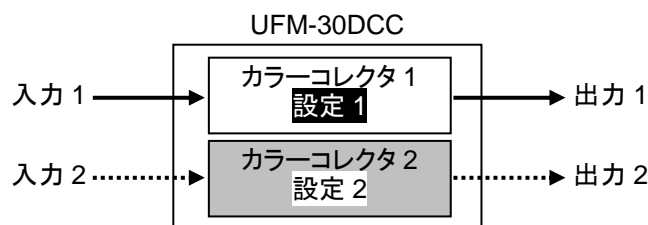
Single Channel モードの設定、Link モードの設定、および Dual Channel モードの「設定 1」は共通です。カラーコレクション等の設定変更後にオペレーションモードを変更すると、変更後の設定が適用されますので注意してください。設定を戻したい場合は、イベントに保存しておき読み込んでください。

### 5-1-2-2. Single Channel モードメニュー

2チャンネル構成時の Single Channel モードのメニューは、標準構成 1チャンネルのメニューとほとんど同じです。「4-11 Operation Mode」を設定できる場所だけが異なります。「5-1-1. カラーコレクタ 1 チャンネル構成」を参照してください。

### 5-1-2-3. Dual Channel モードメニュー

Dual Channel モードでは2つのカラーコレクタを個別設定で使用できます。まず、**Select Color Corrector 1 or 2** 項目でチャンネルを選択してから設定を行ってください。



メニュー分類	設定内容概略
DUAL	設定を行うカラーコレクタを選択します。
Video Process AMP	プロセスアンプを設定します。
Color Correction	カラーコレクションを設定します。
Video Clip	ビデオクリップを設定します。
SYSTEM	入力選択、信号ロス、アンシラリデータ処理等を設定します。
UTILITY	イベントメモリ、LED 画面設定を操作します。
STATUS	ビデオ信号、基板の状態についてのデータを表示します。

分類	メニュー			参照
	番号	項目	略称表示	
DUAL	—	Select Color Corrector1 or 2>	Sel CC>	5-2-2

VIDEO 設定はすべてのモードで共通です。「5-1-1. カラコレ 1 チャンネル構成」を参照してください。

◆ SYSTEM メニュー

メニュー			参照
番号	項目	略称表示	
4	System Setting	System	5-2-5
4-02	Bypass/Operate>	By-Op>	
4-03	Loss Mode>	LossMOD>	
4-04	Back Color>	BColor>	
4-05	H Ancillary Mode>	H ANCI>	
4-06	V Ancillary Mode>	V ANCI>	
4-07	Output Delay>	Out DLY>	
4-10	Test Signal	Test SIG	
4-11	Operation Mode>	OP Mode>	

◆ UTILITY メニュー

メニュー			参照
番号	項目	略称表示	
5	Event Memory	EventMEM	5-2-6
5-01	Start Up Event Load> (*1)(*2)	STUP EL>	
5-02	Auto Event Load> (*1)	Auto EL>	
5-03	Event Load> (*1)(*2)	Ev Load>	
5-04	Event Save> (*1)(*2)	Ev Save>	
6	Front Panel Setting	PanelSET	5-2-7
6-01	Front Brightness>	Bright>	
6-02	Panel Lock>	Lock>	
6-03	Input Status Display Set>	IN DSP>	

(\*1) 「4-02 Bypass/Operate」が **Bypass** に設定された場合、設定変更できなくなります。設定しようとする、**「In Bypass, it doesn't operate」** の警告メッセージが表示されます。

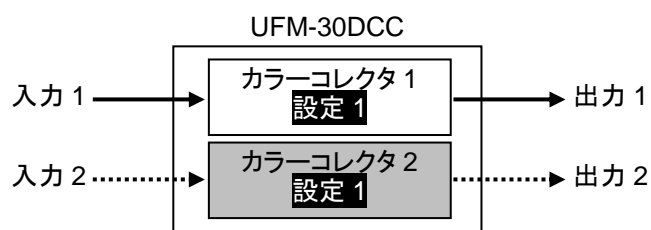
(\*2) Auto Event Load 項目を **Enable** に設定すると、Event Load / Event Save 操作はできません。また、Auto Event Load 項目設定が **Enable** のまま電源を切り、再度電源を投入した場合、Start Up Event Load 設定よりも Auto Event Load 設定が優先されて起動します。また、Auto Event Load 項目設定が **Enable** のときは、Start Up Event Load 項目の設定変更はできません。設定しようとする、**「Auto Event Load Enable!**」 の警告メッセージが表示されます。

◆ STATUS メニュー

メニュー			参照
番号	項目	略称表示	
7	System Status	SYSTEMSTS	5-2-8
7-02	SDI IN1 Format>	IN1 STS>	
7-03	SDI IN2 Format>	IN2 STS>	
8	Module Information	MDL INFO	5-2-9
8-01	Slot Number>	Slot NO>	
8-02	External Control Mode>	CTL Mod>	
8-03	Version Info>	Version>	
8-04	FPGA Version Info>	FPGA>	
8-05	UFM-3DCC2C Option Info>	Dual Ch>	
8-06	UFM-3DCCMF Option Info>	Multi>	
8-07	UFM-3DCC3G Option Info>	3G Op>	

#### 5-1-2-4. Link モードメニュー

Link モードメニューは 2 つのカラーコレクタを同じ設定で使用できます。Link モードの設定を変更すると、Single モード設定および Dual Channel モードの「設定 1」も変更されますので注意してください。



メニュー分類	設定内容概略
Video Process AMP	プロセスアンプを設定します。
Color Correction	カラーコレクションを設定します。
Video Clip	ビデオクリップを設定します。
SYSTEM	入力選択、信号ロス、アンシラリーデータ処理等を設定します。
UTILITY	イベントメモリ、LED 画面設定を操作します。
STATUS	ビデオ信号、基板の状態についてのデータを表示します。

Video Process AMP、Color Correction、Video Clip 設定はすべてのモードで共通です。  
「5-1-1. カラーコレクタ 1 チャンネル構成」を参照してください。

#### ◆ SYSTEM メニュー

		メニュー		参照
番号	項目	略称表示		
4	System Setting	System		5-2-5
4-02	Bypass/Operate>	By-Op>		
4-03	Loss Mode>	LossMOD>		
4-04	Back Color>	BColor>		
4-05	H Ancillary Mode>	H ANCI>		
4-06	V Ancillary Mode>	V ANCI>		
4-08	Output Delay 1>	Out DL1>		
4-09	Output Delay 2>	Out DL2>		
4-10	Test Signal	Test SIG		
4-11	Operation Mode>	OP Mode>		

◆ UTILITY メニュー

メニュー			参照
番号	項目	略称表示	
5	Event Memory	EventMEM	5-2-6
5-01	Start Up Event Load> (*1)(*2)	STUP EL>	
5-02	Auto Event Load> (*1)(*2)	Auto EL>	
5-03	Event Load> (*1)(*2)	Ev Load>	
5-04	Event Save> (*1)(*2)	Ev Save>	
6	Front Panel Setting	PanelSET	5-2-7
6-01	Front Brightness>	Bright>	
6-02	Panel Lock>	Lock>	

(\*1) 「4-02 Bypass/Operate」が **Bypass** に設定された場合、設定変更できなくなります。設定しようとする時、「In Bypass, it doesn't operate」の警告メッセージが表示されます。

(\*2) 「4-11 Operation Mode」が **Link** の場合、**VID FRMT** は設定項目に表示されません。また、Auto Event Load 項目は選択できません。Auto Event Load 項目を設定しようとする時、「In Link Mode, it doesn't operate」の警告メッセージが表示されます。

◆ STATUS メニュー

メニュー			参照
番号	項目	略称表示	
7	System Status	SYSTEMSTS	5-2-8
7-02	SDI IN1 Format>	IN1 STS>	
7-03	SDI IN2 Format>	IN2 STS>	
8	Module Information	MDL INFO	5-2-9
8-01	Slot Number>	Slot NO>	
8-02	External Control Mode>	CTL Mod>	
8-03	Version Info>	Version>	
8-04	FPGA Version Info>	FPGA>	
8-05	UFM-3DCC2C Option Info>	Dual Ch>	
8-06	UFM-3DCCMF Option Info>	Multi>	
8-07	UFM-3DCC3G Option Info>	3G Op>	

## 5-2. UFM-30DCC 前面パネルメニュー詳細

### 5-2-1. カラーコレクタ (チャンネル) 選択

カラーコレクタ選択は Dual Channel モード時に表示されます。

メニュー項目	初期値	設定範囲	内容
Select Color Corrector 1 or 2>	Correct1	Correct1, Correct2	設定変更を行うチャンネルの選択を行います。

### 5-2-2. プロセスアンプ

3つのモード共通のメニューです。「2-02 Correction Mode」の設定により表示される項目が変わります。

番号	Correction Mode 設定	メニュー項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	内容
1	Video Process AMP				
1-01	DIF, BAL, SEPIA	Video Level>	100.0%	0.0~200.0% (0.1%)	ビデオレベルを設定します。
1-02	DIF, BAL, SEPIA	Y Level>	100.0%	0.0~200.0% (0.1%)	ルミナンスレベルを設定します。
1-03	DIF, BAL	Chroma Level>	100.0%	0.0~200.0% (0.1%)	クロマレベルを設定します。(*1)
1-04	DIF, BAL, SEPIA	Setup/Black Level>	0.0%	-7.0~25.0% (0.1%)	ブラックレベルを設定します。
1-05	DIF, BAL	Hue>	0.0°	-180.0~180.0° (0.1°)	色位相を設定します。(*1)

(\*1) 「2-02 Correction Mode」が **SEPIA** の場合、Chroma Level 項目、および Hue 項目の選択はできません。項目を設定しようとすると、「In Sepia Mode, it doesn't operate」の警告メッセージが表示されます。

### 5-2-3. カラーコレクション

3つのモード共通のメニューです。「2-02 Correction Mode」の設定により表示される項目が変わります。

番号	Correction Mode 設定	メニュー項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	内容
2	Color Correction				
2-01	DIF, BAL, SEPIA	Split Mode>	Mode Off	Mode Off, Mode1~3	出力ビデオのスプリットモード(分割比較画面表示)を設定します。 <b>Off</b> : 補正後の映像出力 <b>Mode1</b> : 入力映像と補正映像が縦半分ずつ表示 <b>Mode2</b> : 入力映像と補正映像が横半分ずつ表示 <b>Mode3</b> : 入力映像をそのまま出力

2-02	--	Correction Mode>	BALANCE	BALANCE, DIF, SEPIA	<p>コレクションモードを <b>BALANCE (RGB)</b>、<b>DIFFERENTIAL (色差)</b>、<b>SEPIA</b> から選択します。</p> <p><b>BALANCE:</b> RGB 信号補正モード 映像のホワイトバランスを補正する際に使用します。R・G・Bの各レベルを操作することにより、映像のグレースケールを変化させることができます。</p> <p><b>DIFFERENTIAL:</b> 色差信号補正モードホワイトバランスを一定に保ったまま「色の濃淡の違い」を補正する際に使用します。R・G・Bの各レベルを操作しても映像のグレースケールには影響を与えません。映像の各色別の飽和度が異なっているときに使用すると有効です。</p> <p><b>SEPIA:</b> セピアモード モノトーンでの画像作りの際に使用します。</p>
2-03	DIF, BAL	Group Adjustment>	Off	Off, On	<p>RGB を同時、または個別に設定できます。(*1)</p> <p><b>Off :</b> RGB 個別設定</p> <p><b>On :</b> RGB 同時設定</p>
2-04	DIF, BAL	White Level Red>	0.0%	0.0~200.0% (0.1%)	RGB でホワイトレベルを設定します。(*2)
2-05	DIF, BAL	White Level Green>			
2-06	DIF, BAL	White Level Blue>			
2-07	DIF, BAL	Black Level Red>	0.0%	0.0~200.0% (0.1%)	RGB でブラックレベルを設定します。(*2)
2-08	DIF, BAL	Black Level Green>			
2-09	DIF, BAL	Black Level Blue>			
2-10	DIF, BAL, SEPIA	Gamma Curve>	Center	Center, Black, White	<p>ガンマカーブ補正の中心を選択します。</p> <p><b>Center:</b> ガンマカーブの 50% 近傍を中心に補正処理</p> <p><b>Black:</b> ガンマカーブの 25% 近傍を中心に補正処理</p> <p><b>White:</b> ガンマカーブの 75% 近傍を中心に補正処理</p>
2-11	DIF, BAL	Gamma Level Red>	0.0%	0.0~200.0% (0.1%)	RGB でガンマレベルを設定します。(*3)
2-12	DIF, BAL, SEPIA	Gamma Level Green>			
2-13	DIF, BAL	Gamma Level Blue>			
2-14	SEPIA	Sepia Level>	25.0%	0.0~100.0% (0.1%)	セピアモード時にセピアレベルを設定します。(*4)
2-15	SEPIA	Sepia Color>	-160.0°	-180.0~180.0° (0.1°)	セピアモード時にセピアカラーを設定します。(*4)



- (\*1) 「Group Adjustment」はWEB制御とは連動していません。
- (\*2) 「2-02 Correction Mode」が**SEPIA**の場合、White Level Red / Green / Blueの各項目、およびBlack Level Red / Green / Blueの各項目は選択できません。その項目を設定しようとする、「In Sepia Mode, it doesn't operate」の警告メッセージが表示されます。
- (\*3) 「2-02 Correction Mode」が**SEPIA**の場合、Gamma Level Green項目でY信号のみ設定可能となります。また、Gamma Level Red / Blue項目は選択できません。その項目を設定しようとする、「In Sepia Mode, it doesn't operate」の警告メッセージが表示されます。
- (\*4) 「2-02 Correction Mode」が**BALANCE**、または**DIF**の場合、Sepia Level / Color項目は選択できません。その項目を設定しようとする、「In BAL Mode, it doesn't operate」、または「In DIF Mode, it doesn't operate」の警告メッセージが表示されます。

## 5-2-4. クリップコントロール

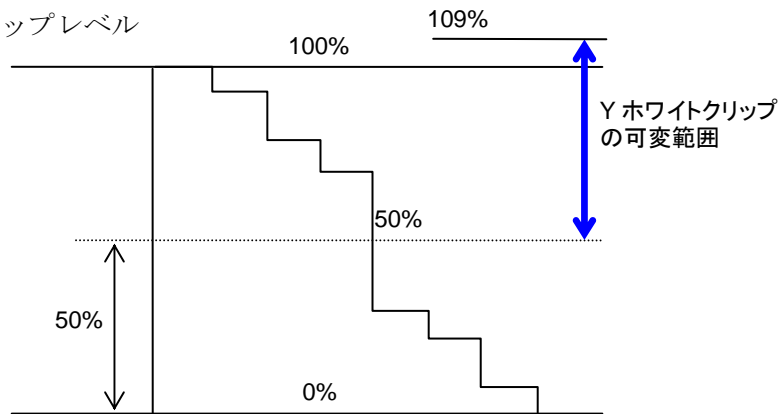
3つのモード共通のメニューです。「3-01 Video Clip Mode」のモード設定により調整できる項目が変わります。

番号	Video Clip Mode 設定	メニュー項目	初期値	設定範囲 (設定単位)	内容
3	Video Clip				
3-01	---	Video Clip Mode>	Off	Off, YPbPr, GBR, VBS	クリップモードを選択します。 <b>Off</b> : クリップモードは動作しません。 <b>YPbPr</b> : YPbPr カラー空間でクリップ動作します。 <b>GBR</b> : GBR カラー空間でクリップ動作します。 <b>VBS</b> : コンポジットカラー空間で動作します。
3-02	YPbPr	Y White Clip>	109.0%	50.0~109.0% (0.1%)	Y信号のホワイトクリップを設定します。(*1)
3-03	YPbPr	Y Black Clip>	-7.0%	-7.0~50.0% (0.1%)	Y信号のブラッククリップを設定します。(*1)
3-04	YPbPr	Chroma Clip>	113.0%	50.0~113.0% (0.1%)	C信号のホワイトクリップを設定します。(*1)
3-05	GBR	GBR White Clip>	300.0%	50.0~300.0% (0.1%)	GBR信号のホワイトクリップを設定します。(*2)
3-06	GBR	GBR Black Clip>	-200.0%	-200.0~50.0% (0.1%)	GBR信号のブラッククリップを設定します。(*2)
3-07	VBS	Composite White Clip>	150.0%	50.0~150.0% (0.1%)	Composite (VBS) 信号のホワイトクリップを設定します。(*3)
3-08	VBS	Composite Black Clip>	-50.0%	-50.0~50.0% (0.1%)	Composite (VBS) 信号のブラッククリップを設定します。(*3)

- (\*1) 「YPbPr クリップ調整 (p28)」参照  
「3-01 Video Clip Mode」が**Off**、**GBR**または**VBS**の場合、その項目は選択できません。項目を設定しようとする、「In Clip Off, it doesn't operate」、「In GBR Clip, it doesn't operate」、「In VBS Clip, it doesn't operate」の警告メッセージが表示されます。
- (\*2) 「GBR クリップ調整 (p29)」参照  
「3-01 Video Clip Mode」が**Off**、**YPbPr**または**VBS**の場合、その項目は選択できません。項目を設定しようとする、「In Clip Off, it doesn't operate」、「In YPbPr Clip, it doesn't operate」、「In VBS Clip, it doesn't operate」の警告メッセージが表示されます。
- (\*3) 「Composite クリップ調整 (p29)」参照  
「3-01 Video Clip Mode」が**Off**、**YPbPr**または**GBR**の場合、その項目は選択できません。項目を設定しようとする、「In Clip Off, it doesn't operate」、「In YPbPr Clip, it doesn't operate」、「In GBR Clip, it doesn't operate」のいずれかの警告メッセージが表示されます。

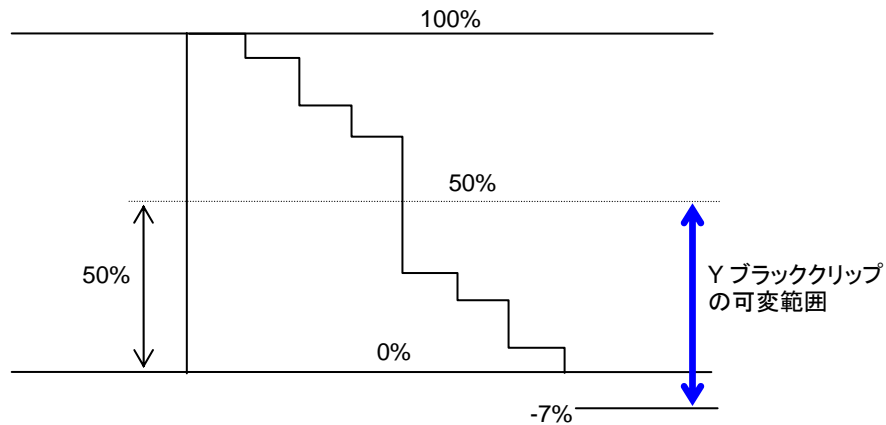
◆ YPbPr クリップ調整

Y ホワイトクリップレベル



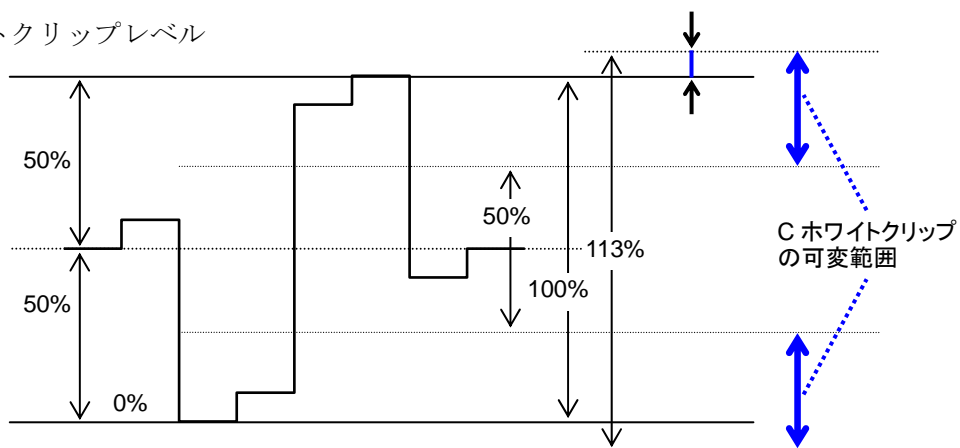
SMPTE 100% カラーバー 100% ホワイト基準

Y ブラッククリップレベル



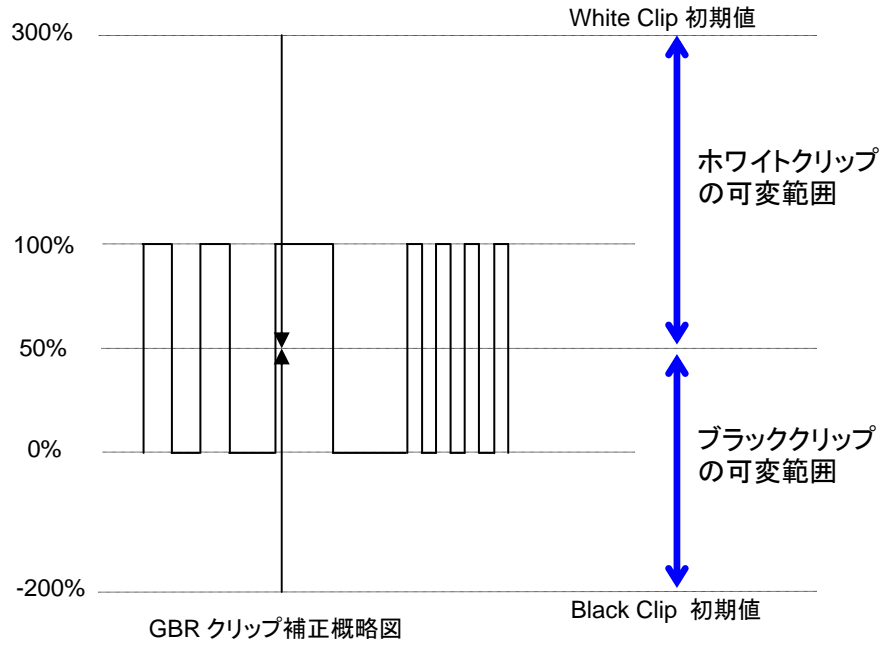
SMPTE 100% カラーバー 100% ブラック基準

C ホワイトクリップレベル

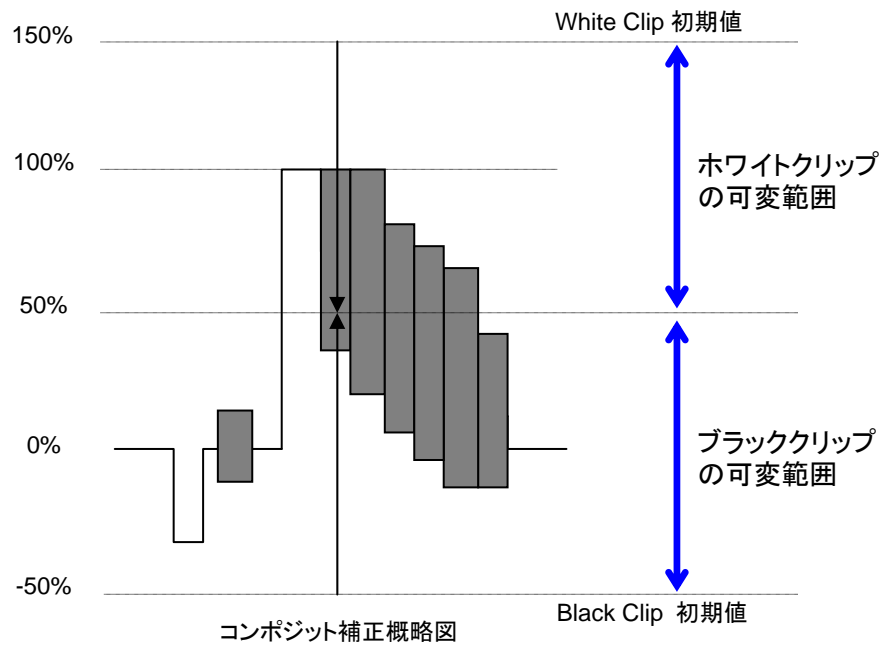


SMPTE 100% カラーバー 700mVp-p(100%) カラー基準

◆ GBR クリップ調整



◆ Composite クリップ調整



## 5-2-5. システム設定

システム設定に表示される項目は3つのモードで異なります。

メニュー			初期値	設定範囲	内容
番号	モード	項目			
4	System Setup				
4-01	Single	Input Select>	SDI In1	SDI In1, SDI In2	入力チャンネルを選択します。
4-02	Single Dual Link	Bypass/Operate>	Operate	Operate, Bypass	バイパス設定にすると、制御中のUFM-30DCCから出力される信号は、入力信号が処理されずに出力されます。(*1)
4-03	Single Dual Link	Loss Mode>	Back COL	BackCOL, ColorBar, Disable	無信号時の動作を設定します。
4-04	Single Dual Link	Back Color>	Black	Black, Gray, Blue	無信号時の背景色を選択します。
4-05	Single Dual Link	H Ancillary Mode>	Through	Through, Delete	<b>Through</b> : アンシラリデータは一切操作されず、そのまま出力されます。
4-06	Single Dual Link	V Ancillary Mode>	Through	Through, Delete	<b>Delete</b> : アンシラリデータは全て削除されます。
4-07	Single Dual	Output Delay>	---	(*2)	出力遅延を設定します。設定範囲はフォーマットごとに異なり、最小遅延から約1Hまで設定できます。 入力信号フォーマットが変わると最小値に戻ります。
4-08	Link	Output Delay1>	---	(*2)	出力1の出力遅延を設定します。設定範囲はフォーマットごとに異なり、最小遅延から約1Hまで設定できます。 入力信号フォーマットが変わると最小値に戻ります。
4-09	Link	Output Delay2>	---	(*2)	出力2の出力遅延を設定します。設定範囲はフォーマットごとに異なり、最小遅延から約1Hまで設定できます。 入力信号フォーマットが変わると最小値に戻ります。
4-10	Single Dual Link	Test Signal>	Off	Off, Full CB, SMPTE CB, RAMP	テスト信号の発生を行います。VIDEOメニューの設定にかかわらず、フル画面で表示されます。
4-11	Single Dual Link	Operation Mode >	Dual	Single, Dual, Link	UFM-30DCCの動作モードを設定します。(*3) <b>Single</b> : Single Channel モード <b>Dual</b> : Dual Channel モード <b>Link</b> : Link モード

### (\*1) Bypass 設定時

Bypass を選択すると次ページの表の項目以外は選択できません。それ以外の項目を設定/表示しようとする時、「In Bypass, it doesn't operate」の警告メッセージが表示されます。

項目	参照
Select Color Corrector 1 or 2	5-2-1. カラーコレクタ選択
System Setting	5-2-5. システム設定
Front Panel Setting	5-2-7. 前面パネル設定
System Status	5-2-8. システムステータス
Module Information	5-2-9. モジュール情報

**(\*2) Output Delay の設定範囲**

System Format	Output Delay 設定範囲
525/60	200CLK~1716CLK
1080/59.94i	140CLK~2200CLK
720/59.94p	140CLK~1650CLK
625/50	200CLK~1728CLK
1080/50i	140CLK~2640CLK
720/50p	140CLK~1980CLK

**(\*3) Operation Mode 項目**

Operation Mode 項目は標準構成の場合は表示されません。オプション構成の場合は、Single Channel モード時にも表示されます。

Single Channel モードの設定、Link モードの設定、および Dual Channel モードの「**設定 1**」は共通です。カラーコレクション等の設定変更後にオペレーションモードを変更すると、変更後の設定が適用されますので注意してください。設定を戻したい場合は、イベントに保存しておき読み込んでください。

## 5-2-6. イベントメモリ

メニュー		初期値	設定範囲	内容
番号	項目			
6	Event Memory			
6-01	Start Up Event Load > (*1)(*2)(*3)	Last Set	Last Set, VID FRMT, Default, Event 1~50	電源起動時に読出しを行うイベントを指定します。 <b>Last Set</b> : 電源投入前の状態で起動します。(*3) <b>VID FRMT</b> : 電源投入前の最後に検出されたビデオ信号でビデオ信号別の設定状態で起動します。 <b>Default</b> : 初期値状態で起動します。 <b>Event 1~50</b> : Event 1~50 に保存された内容で起動します。
6-02	Auto Event Load > (*1)(*3)	Disable	Disable, Enable	<b>Enable</b> : 入力ビデオ信号に追従して、ビデオ信号別の設定状態を自動ロードします。
6-03	Event Load > (*1)(*3)(*4)	-	Default, VID FRMT, Event 1~50	<b>Default</b> : 初期値状態にします。 <b>VID FRMT</b> : 動作中のビデオ信号別に保存されているイベントをロードします。 <b>Event 1~50</b> : 50 個の個別設定内容のイベント。イベントをロードするにはイベント番号を選択し、Unity ボタンを押します。(*6)
6-04	Event Save > (*1)(*3)(*5)	-	VID FRMT, Event 1~50	<b>VID FRMT</b> : 動作中のビデオ信号別に設定に保存します。 <b>Event 1~50</b> : 50 個の個別設定内容のイベント。イベントをセーブするにはイベント番号を選択し、Unity ボタンを押します。(*6)

(\*1) Auto Event Load 項目を **Enable** に設定すると、Event Load / Event Save 操作はできません。また、Auto Event Load 項目設定が **Enable** のまま電源を切り、再度電源を投入した場合、Start Up Event Load 設定よりも Auto Event Load 設定が優先されて起動します。また、Auto Event Load 項目設定が **Enable** のときは、Start Up Event Load 項目の設定変更はできません。設定しようとする、「Auto Event Load Enable!」の警告メッセージが表示されます。

(\*2) 起動時に読み込んだデータ (Start Up Event Load 項目で選択) と電源投入前の最後に検出されたビデオ信号フォーマットが異なる場合、「4-07 Output Delay」、「4-08 Output Delay1」、および「4-09 Output Delay2」の設定値は電源投入時のビデオ信号フォーマットの初期値が設定されます。

(\*3) 「4-11 Operation Mode」が **Link** の場合、**VID FRMT** は設定項目に表示されません。また、Auto Event Load 項目は選択できません。Auto Event Load 項目を設定しようとした場合、「In Link Mode, it doesn't operate」の警告メッセージが表示されます。

「4-11 Operation Mode」を **Link** に変更したとき、下記の項目が **VID FRMT** または **Enable** に設定されていた場合、設定値は自動的に変更されます。

項目	変更前の設定値	変更後の設定値
5-01 Start Up Event Load	VID FRMT	Last Set
5-02 Auto Event Load	Enable	Disable
5-03 Event Load	VID FRMT	Default
5-04 Event Save	VID FRMT	Event1

(\*4) イベントロードの際、「4-07 Output Delay」、「4-08 Output Delay1」、および「4-09 Output Delay2」は以下のような動作をします。

◆ イベントセーブ時と入力フォーマットが同じ場合

保存したデータがそのままロードされます。(下表の例参照)

	入力フォーマット	Output Delay 設定値
イベントセーブ時	1080/59.94i	230CLK
イベントロード時	1080/59.94i	230CLK

◆ イベントセーブ時と入力フォーマットは異なるが、イベントセーブ時の設定値がイベントロード時の入力フォーマットの設定範囲内の場合

保存したデータがそのままロードされます。(下表の例参照)

	入力フォーマット	Output Delay 設定値
イベントセーブ時	1080/59.94i	230CLK
イベントロード時	525/60	230CLK

◆ イベントセーブ時と入力フォーマットが異なり、イベントセーブ時の設定値もイベントロード時の入力フォーマットの設定範囲を超えている場合

イベントロード時の入力フォーマットの最大値、または最小値が設定されます。(下の2つの表例参照)

例1) 保存されている Output Delay の設定値がロード時の設定範囲以下だった場合

	入力フォーマット	Output Delay 設定値
イベントセーブ時	1080/59.94i	150CLK
イベントロード時	525/60	200CLK(設定範囲の最小値)

例2) 保存されている Output Delay の設定値がロード時の設定範囲以上だった場合

	入力フォーマット	Output Delay 設定値
イベントセーブ時	1080/59.94i	2000CLK
イベントロード時	525/60	1716CLK(設定範囲の最大値)

(\*5) 次の設定データはイベントに保存されません。

項目	参照
Select Color Corrector 1 or 2	5-2-1. カラーコレクタ選択
Group Adjustment	5-2-3. カラーコレクション
Operation Mode	5-2-5. システム設定
Front Panel Setting	5-2-7. 前面パネル設定
System Status	5-2-8. システムステータス
Module Information	5-2-9. モジュール情報

(\*6) Event1~50 はすべての動作モードで共通です。

Event1~50、VID FRMT の出荷時設定には、初期値が登録されています

データ自動保存について

注意

UFM-30DCC は、最後に設定された状態を自動でデータ保存しています。  
 設定変更後、3 秒以上経過後に電源を切ってください。  
 設定変更後、3 秒以内に電源を切った場合設定が保存されない場合があります。

## 5-2-6-1. VID FRMT (VIDEO FORMAT) イベントメモリについて

UFM-30DCC は、入力ビデオ信号フォーマット毎にイベントメモリが用意されており、入力ビデオ信号のフォーマットが変わると、自動でフォーマットに合わせた設定を呼び出すことができます。

### ◆ 操作方法

#### ビデオ信号フォーマット毎の保存方法 (525/60 の場合)

1. UFM-30DCC 背面の SDI1 へ 525/60 フォーマットの信号を入力します。
2. Input Select 項目が **1** になっていることを確認します。
3. 必要な設定を行います。
4. Auto Event Load 項目が **Disable** になっていることを確認します。
5. Event Save 項目で **VID FRMT** を選択し、UNITY ボタンを押し、設定をイベントメモリに保存します。525/60 用のイベントメモリに設定状態が保存されます。

※ 625/50、1080/59.94i、1080/50i、720/59.94p、720/50p 等のフォーマット設定を登録したい場合は、対応するフォーマットの信号を SDI1 へ入力し 1 から 5 の操作を行います。

※ 手順 2 で Input Select 項目を **2** に設定することも可能です。この場合は、SDI2 入力に信号を入力してください。

※ Dual Channel モードの場合、チャンネル 1、チャンネル 2 でそれぞれ VID FRMT に設定状態を保存できます。また、チャンネル 1 の VID FRMT は Single Channel モードと共通です。

#### ビデオ信号フォーマット毎のイベントを手動で読み込む方法

1. イベント登録済みフォーマットのビデオ信号を UFM-30DCC に入力します。
2. Auto Event Load 項目が **Disable** になっていることを確認します。
3. Event Load 項目で **VID FRMT** を選択し、UNITY ボタンを押します。入力信号のフォーマットに合ったイベントが読み込まれます。

### 注意

「4-11 Operation Mode」項目が **Link** の場合、VID FRMT は設定項目に表示されません。また、Auto Event Load 項目は選択できません。Auto Event Load 項目を設定しようとする時、「In Link Mode, it doesn't operate」の警告メッセージが表示されます。



## 5-2-7. 前面パネル設定

メニュー			初期値	設定範囲	内容
番号	モード	項目			
6	Front Panel Setting				
6-01	Single Dual Link	Front Brightness>	50%	25%, 50%, 75%, 100%	前面パネルの明るさを選択します。
6-02	Single Dual Link	Panel Lock>	Operate	Operate, Lock	Lock 設定にするとパネルからのメニュー操作を全て禁止します。メニューコントロールを約2秒以上押すとロックが解除され、Operate モードになります。
6-03	Dual	Input Status Display Set>	1min	Off, 1min, 5min	何も操作しなかった場合に、チャンネルごとの入力信号の有無を自動で表示する時間を設定します。 <b>Off</b> : 自動表示しません。 <b>1min</b> : 最終操作から1分後に自動表示されます。 <b>5min</b> : 最終操作から5分後に自動表示されます。

## 5-2-8. システムステータス (表示のみ)

メニュー			内容
番号	モード	項目	
8	System Status		
8-01	Single	Selected SDI Input>	選択している入力信号を表示します。(*1)
8-02	Single Dual Link	SDI IN1 Format>	SDI IN1 に入力されているビデオ信号のフォーマットを表示します。
8-03	Single Dual Link	SDI IN2 Format>	SDI IN2 に入力されているビデオ信号のフォーマットを表示します。

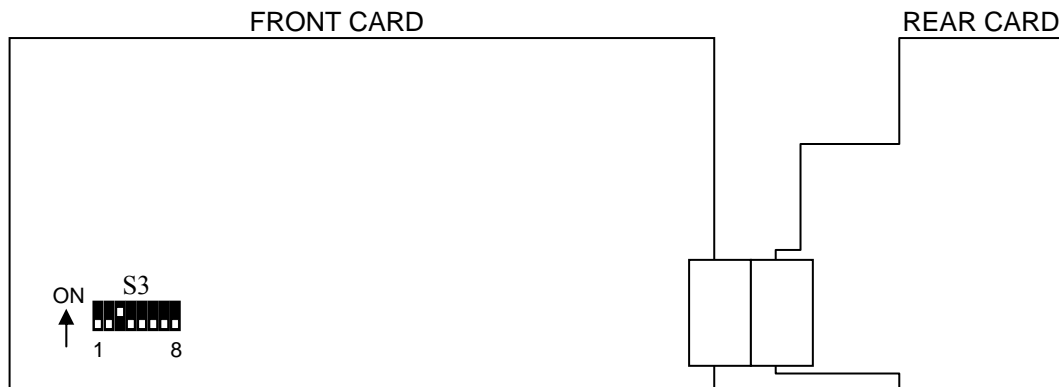
## 5-2-9. モジュール情報 (表示のみ)

メニュー		内容
番号	項目	
9	Module Information	
9-01	Slot Number>	基板が実装されているスロット番号を表示します。
9-02	External Control Mode>	外部コントロール方法を表示します。 WEB ブラウザから制御しているときは、 <b>MD CTL</b> と表示されます。
9-03	Version Info>	ファームウェアのバージョンを表示します。
9-04	FPGA Version Info>	FPGA のバージョンを表示します。
9-05	UFM-3DCC2C Option Info>	デュアルチャンネルオプションの有無を表示します。 <b>Install</b> : デュアルチャンネルオプション有り <b>None</b> : デュアルチャンネルオプション無し
9-06	UFM-3DCCMF Option Info>	マルチフォーマットオプションの有無を表示します。 <b>Install</b> : マルチフォーマットオプション有り <b>None</b> : マルチフォーマットオプション無し ※3G-SDI オプションが追加されている場合、この項目は <b>Install</b> と表示されます。
9-07	UFM-3DCC3G Option Info>	3G-SDI オプションの有無を表示します。 <b>Install</b> : 3G-SDI オプション有り <b>None</b> : 3G-SDI オプション無し

## 6. 内部設定

### 6-1. ディップスイッチ S3

UFM-30DCC 内部の FRONT CARD 上のディップスイッチ S3 により、DCC-OUA/WEB 制御切り換え、処理モードの切り換え、初期化が可能です。



#### ◆ ディップスイッチ S3 設定

番号	機能	設定		出荷時設定
		OFF	ON	
1	DCC-OUA/WEB 制御切り換え	OUA	WEB	OFF
2	FACTORY SET	-	-	OFF
3	処理モードの切り換え	互換モード	30DCC モード	ON
4	FACTORY SET	-	-	OFF
5	FACTORY SET	-	-	OFF
6	初期化	OFF	ON	OFF
7	FACTORY SET	-	-	OFF
8	FACTORY SET	-	-	OFF

#### 6-1-1. DCC-OUA/WEB 制御切り換え (S3-1)

WEB ブラウザから制御する場合は ON に設定します。

OFF (初期設定)	DCC-OUA から制御します。
ON	WEB ブラウザおよび DCC-NETOU から制御します。(*1)(*2)

(\*1) ジャンパ設定の変更が必要です。（「6-2. ジャンパ設定」参照。）

(\*2) UFM-30CTL（別売）が必要です。

#### 6-1-2. 初期化方法 (S3-6)

- FRONT CARD 上のディップスイッチ S3-6 ピンを ON にします。
- UFM フレームの電源を入れ直します。ディスプレイに「Complete」と表示されると初期化完了です。UFM-30DCC の設定が、すべて工場出荷時の設定に戻ります。
- ディップスイッチ S3-6 ピンを OFF に戻します。

**注意** ディップスイッチ S3 の他のピン設定は、変更しないでください。

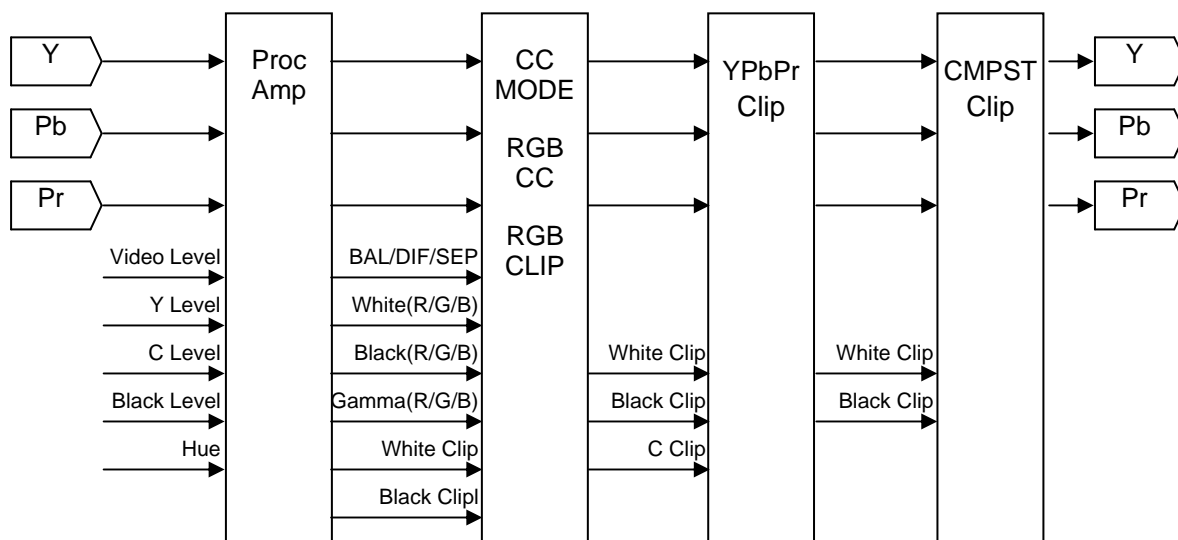
### 6-1-3. 処理モードの切り換え(S3-3)

UFM-30DCC の処理モードを 2 種類から選択できます。

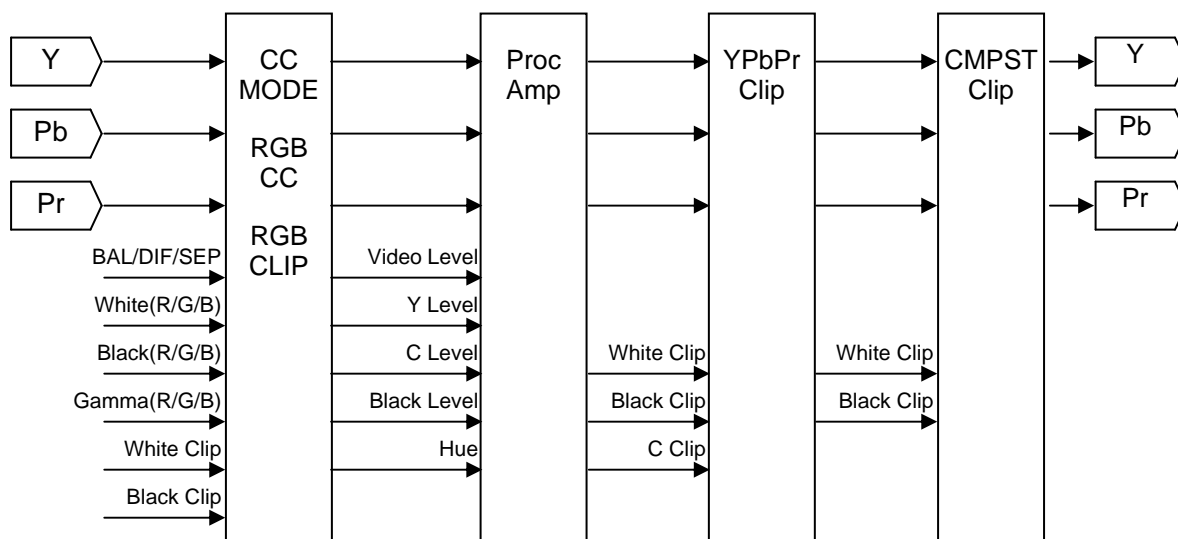
OFF	従来の DCC 製品 (DCC-70HS、DCC-100、UFM-100DCC) と同様に、カラーコレクション処理後にプロセスアンプ処理を行います。(互換モード)
ON (初期設定)	プロセスアンプ処理後にカラーコレクション処理を行います。

#### ◆ UFM-30DCC ブロックダイアグラム

<UFM-30DCC モード(S3-3: ON)>



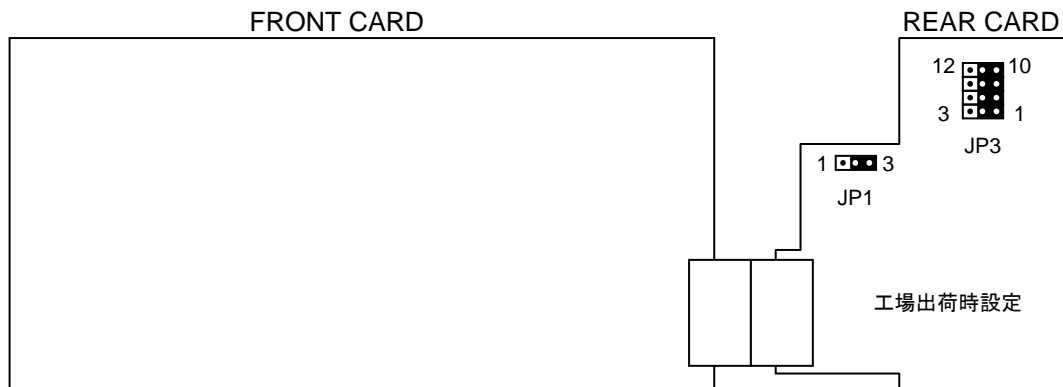
<DCC 互換モード(S3-3: OFF)>



## 6-2. ジャンパ JP3

### 注意

UFM-30DCC の REAR CARD 上の JP1 のジャンパ設定は、工場出荷時設定から変更しないでください。



### ◆ JP1、JP3 工場出荷時設定

JP No.	工場出荷時設定
JP1	2-3 ショート
JP3	1-2 ショート
	4-5 ショート
	7-8 ショート
	10-11 ショート

※JP1 は変更しないでください。

### 6-2-1. DCC-OUA/WEB 制御切り換え

ジャンパ JP3 は、UFM-30DCC の制御方法（DCC-OUA 制御または WEB 制御）を切り換えます。ディップスイッチ S3-1 の変更も同時に必要です。（「6-1. ディップスイッチ S3」参照。）

DCC-OUA 制御	1-2 ショート 4-5 ショート 7-8 ショート 10-11 ショート	 JP3
WEB 制御 (*1)	2-3 ショート 5-6 ショート 8-9 ショート 11-12 ショート	 JP3

(\*1) UFM-30CTL（別売）が必要です。

## 7. トラブルシューティング

修理を依頼される前に、次のことを確認してください。

### 注意

下記の項目をすべて確認しても正常に動作しない場合は、製品の電源を OFF にし、再度 ON にしてください。それでも正常に動作しない場合は、販売代理店へご連絡ください。

状況	チェック項目	対応
前面パネルの操作ができない。	ディスプレイに「Lock」と表示されていませんか？	メニューコントロールを長押しして、前面パネルのロックを解除してください。（「4-2-2」、「5-2-7」参照）
カラーコレクションの設定ができない。	バイパスモードに設定されていませんか？	Bypass/Operate 項目を Operate に変更してください。（「DCC-OUA 取扱説明書」、「5-2-5」参照）
ビデオクリップの設定ができない。		
Chroma Level 項目の設定ができない。	Correction Mode 項目が SEPIA になっていませんか？	Correction Mode 項目を BALANCE または DIF に変更してください。
Hue 項目の設定ができない。		
WEB ブラウザから制御できない。	UFM-30CTL と正しく接続されていますか？	UFM-30CTL の取扱説明書を参照し、接続を確認してください。
	ディップスイッチ S3-1 設定	ディップスイッチ S3-1 を ON にしてください。（「6-1-1」参照）
	ジャンパ JP3 設定	ジャンパ JP3 を WEB 制御用に設定してください。（「6-2-1」参照）
リモートユニットからスプリットやガンマカーブなどが操作できない。	DCC-OU を使用していませんか？	DCC-OU からは操作できない機能があります。（「3-1-2」参照）DCC-OUA を使用してください。
DCC-OUA から制御できない。	DCC-OUA と正しく接続されていますか？	専用ケーブルを使い REMOTE コネクタから DCC-OUA に接続してください。
	ディップスイッチ S3-1 設定	ディップスイッチ S3-1 を OFF にしてください。（「6-1-1」参照）
	ジャンパ JP3 設定	ジャンパ JP3 を DCC-OUA 制御に設定してください。（「6-2-1」参照）
オペレーションモードを変更したら、前回の値と変わっている。	モード変更前に設定を変更しましたか？	Single Channel モード、Link モード、Dual Channel モードの「設定 1」は共通です。他のモードで値を変更すると、他のモードでも同様に変更されます。
イベント操作ができない。	Auto Event Load 項目が Enable になっていませんか？	Auto Event Load 項目を Disable に変更してください。（「5-2-6」参照）
Auto Event Load 項目が設定できない。	Link モードで動作していませんか？	Link モード時は Auto Event Load 項目は変更できません。
イベントを読み込んだら Output Delay の値が初期値に戻っていた。	イベント保存時の入力ビデオと、現在入力しているビデオのフォーマットは同じですか？	フォーマットが異なると、Output Delay の値は初期値に戻ることがあります。（「5-2-6」参照）
Start Up Event Load を Last Set にしていたのに、起動したら Output Delay の値が初期値に戻っていた。	電源切断時の入力ビデオと、現在入力しているビデオのフォーマットは同じですか？	フォーマットが異なると、Output Delay の値は初期値に戻ります。（「5-2-6」参照）

## 8. 仕様および外観図

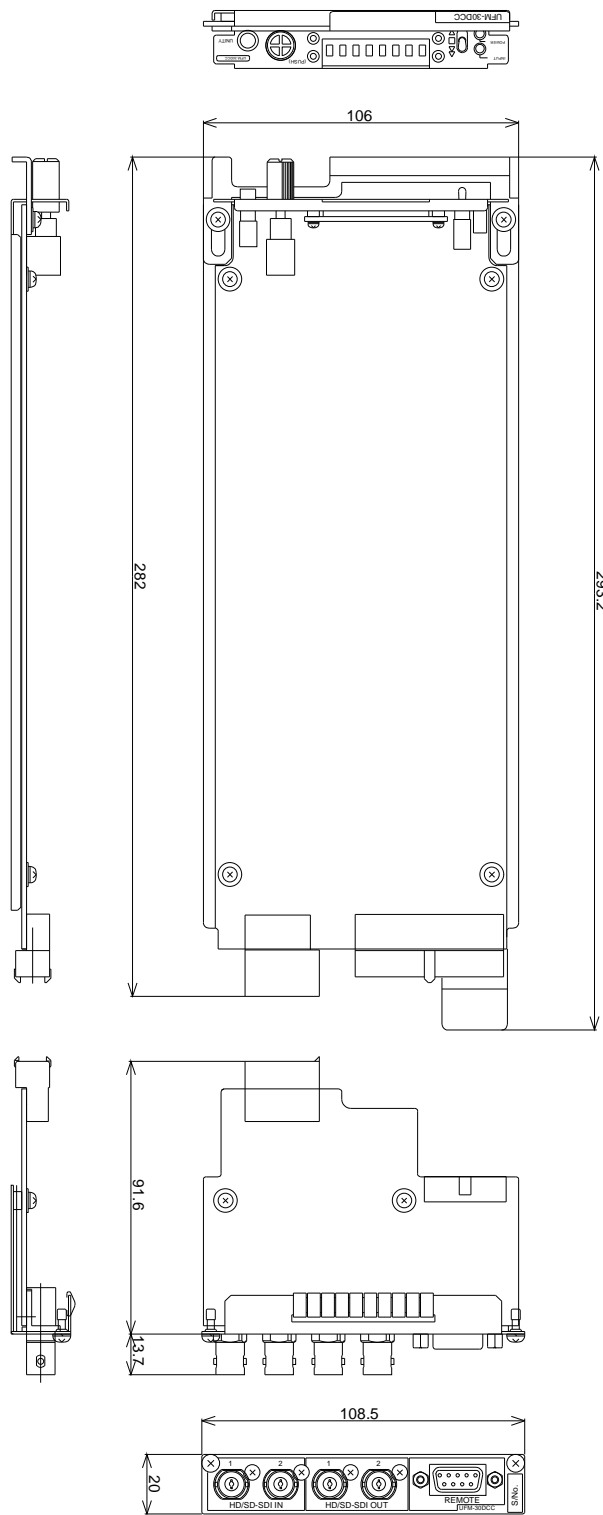
### 8-1. 仕様

ビデオフォーマット	1080/59.94i, 50i, 720/59.94p, 50p 525/60, 625/50
ビデオフォーマット (UFM-3DCC3G 実装時)	1080/50p, 59p, 60p (レベル A) 1080/60i, 1035/59.94i, 60i 1080/30PsF, 23.98PsF, 24PsF, 25PsF, 29.97PsF 1080/30p, 23.98p, 24p, 25p, 29.97p 720/23.98p, 24p, 25p, 30p, 29.97p, 60p (1080/30PsF, /29.97PsF, /25PsF は、それぞれ 1080/60i, 59.94i, 50i として扱われます。)
ビデオ入力	3G-SDI: 3 Gbps または HD-SDI: 1.5 Gbps または SD-SDI: 270 Mbps 75Ω BNC x 2
ビデオ出力	3G-SDI: 3 Gbps または HD-SDI: 1.5 Gbps または SD-SDI: 270 Mbps 75Ω BNC x 2
コントローラ	DCC-OUA (Ver.3.00 以上) WEB 制御/SNMP 監視 (UFM-30CTL が必要) DCC-NETOU (UFM-30CTL が必要) ※DCC-OUA と他のコントローラの同時使用はできません。
信号処理方式	4:2:2 デジタルコンポーネント
量子化	Y: 10 ビット、C: 10 ビット
サンプリング周波数	3G-SDI: Y: 148 MHz C: 74 MHz HD-SDI: Y: 74 MHz C: 37 MHz SD-SDI: Y: 13.5 MHz C: 6.75 MHz
内部プロセス	2 入力 (手動選択) 1 系統 2 出力 2 入力 2 系統 2 出力 (オプション)
ビデオ遅延調整	最小遅延 (SD: 200CLK/HD: 140CLK) ~ 最大約 1H まで設定可能
ビデオ機能	プロセスアンプ、ビデオクリップ、フリーズ
プロセスアンプ	ビデオレベル: 0.0%~200.0% Y レベル: 0.0%~200.0% クロマ レベル: 0.0%~200.0% セットアップ/ブラック レベル: -7.0%~25.0% ヒュー: -180.0°~+180.0°
カラーコレクション	モード: バランス、ディファレンス、セピア バランス、ディファレンス ・ホワイトレベル (RGB): 0.0%~200.0% (入力信号に対し) ・ブラックレベル (RGB): 0.0%~200.0% (入力信号に対し) ・ガンマレベル (RGB): 0.0%~200.0% (入力信号に対し) ・ガンマカーブ: WHITE、CENTER、BLACK セピア ・セピアレベル: 0.0%~100.0% ・セピアカラー: -180.0°~+180.0°

ビデオクリップ	<p>モード：YBR クリップ、GBR クリップ、Composite クリップ</p> <p>YBR クリップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Y LEVEL クリップ: 50.0%～109.0%</li> <li>・ BLACK クリップ: -7.0%～50.0%</li> <li>・ C LEVEL クリップ: 50.0%～113.0%</li> </ul> <p>GBR クリップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ WHITE クリップ: 50.0%～300.0%</li> <li>・ BLACK クリップ: -200.0%～50.0%</li> </ul> <p>Composite (VBS) クリップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ WHITE クリップ: 50.0%～150.0%</li> <li>・ BLACK クリップ: -50.0%～50.0%</li> </ul>
処理モード切換 (内部設定)	<p>UFM30DCC モード: プロセスアンプ→カラーコレクション</p> <p>旧製品互換モード: カラーコレクション→プロセスアンプ</p>
分割表示機能	コレクション表示を4つのモードで表示可能
アンシラリデータ制御	H ANC、V ANC それぞれ通過/非通過設定可能
インターフェース	REMOTE (RS-422): D-sub 9 ピン (メス) x 1 (インチネジ) (DCC-OUA 接続用)
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	30%～85% (結露しないこと)
電源電圧	DC+24V UFM フレームより供給
消費電力	約 0.8A、約 20W
外形寸法	<p>フロントモジュール: 106 (W) x 293.2 (D) mm</p> <p>リアモジュール: 108.5 (W) x 91.6 (D) mm</p>
質 量	約 0.5 kg
消耗部品	なし
オプション	<p>◇UFM-3DCC3G: 3G-SDI 対応オプション</p> <p>◇UFM-3DCC2C: 2チャンネルオプション</p> <p>◇DCC-OUA: カラーコレクタ用オペレーションユニット</p> <p>◇DCC-NETOU: カラーコレクタ用ネットワーク オペレーションユニット</p> <p>◇UFM-30CTL: コントロールカード</p> <p>◇コントロールケーブル: DCC-OUA 接続用 (PC-2076-3, 10m)</p>

## 8-2. 外觀圖

(寸法單位 mm)





型名（製品名）	UFM-30DCC
シリアル番号	
ご購入日	
保証期間	<b>ご購入日から1年間</b>
ご購入店名	
ご住所	
TEL	
お名前	

保証期間中、通常のお取り扱いにおいて発生した故障は無料修理いたします。  
お取り扱い上の不注意、天災による損傷の場合は実費をいただきます。  
ご自分で修理・調査・改造されたものは、保証いたしかねる場合があります。  
保証期間内に故障の節は本保証書をご提示の上、ご購入店または最寄りの弊社営業所にご用命ください。  
この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

## 株式会社 朋栄

本社 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3丁目8番1号

## サービスに関するお問い合わせは

<b>FOR.A</b> <sup>®</sup> INNOVATIONS IN VIDEO and AUDIO TECHNOLOGY	24h 365 days	サービスセンター <b>03-3446-8575</b>
---	-----------------	---------------------------------

## 株式会社 朋栄

本 社	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿 3-8-1	Tel:03-3446-3121 (代)
関西支店	〒530-0055	大阪市北区野崎町 9-8 永楽ニッセイビル 8F	Tel:06-6366-8288 (代)
札幌営業所	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2011 (代)
東北営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央 2-10-30 仙台明芳ビル	Tel:022-268-6181 (代)
中部・北陸営業所	〒460-0003	名古屋市中区錦 1-20-25 広小路 YMD ビル	Tel:052-232-2691 (代)
中国営業所	〒730-0012	広島市中区上八丁堀 5-2 KM ビル	Tel:082-224-0591 (代)
九州営業所	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通 2-4-8 福岡小学館ビル	Tel:092-731-0591 (代)
沖縄営業所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地 3-17-5 美栄橋ビル	Tel:098-860-4178 (代)
佐倉研究開発センター	〒285-8580	千葉県佐倉市大作 2-3-3	Tel:043-498-1230 (代)
札幌研究開発センター	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2018 (代)

その他のお問い合わせは、最寄りの営業所にご連絡ください。